



創価大学

Discover your potential
自分力の発見

特設課程ガイド 2014

教職課程 / 社会教育主事課程



このガイドは、教員免許状および資格を取得するまで必要ですから、卒業するまで大切に保管してください。(2014年度以降の入学生に適用)

目 次

1. はじめに	2
2. 特設課程の登録について	2
3. 連絡・お知らせ方法と利用施設について	3
I 教職課程編	
1. 教員免許状について	4
(1) 本学で取得できる免許状の種類と教科	4
(2) 教員免許状取得の方法について	5
1. 基礎資格を充足する	6
2. 教職に関する科目	7
3. 教科に関する科目	8
4. 教科又は教職に関する科目	10
5. 介護等体験	10
(3) 関門制度・教職実践演習について	11
(4) 教員免許状取得までのお主なスケジュール	12
(5) 教職・教科に関する科目・学科別一覧	13
◆教職に関する科目（中学校・高等学校）	14
●教科に関する科目（中学校・高等学校）	
○経済学科（中1/社会、高1/地理歴史、高1/公民）	16
○法律学科（中1/社会、高1/地理歴史、高1/公民）	18
○人間学科	20
（中1/英語・社会・国語・中国語・ロシア語、 高1/英語・地理歴史・公民・国語・中国語・ロシア語）	
○経営学科（中1/社会、高1/地理歴史、高1/公民）	34
○教育学科（中1/社会、高1/地理歴史、高1/公民）	36
○情報システム工学科（中1/数学、高1/数学）	38
○情報システム工学科（高1/情報）	39
○生命情報工学科（中1/理科、高1/理科）	40
○環境共生工学科（中1/理科、高1/理科）	41
◆教職に関する科目（幼稚園・小学校）	42
●教科に関する科目（幼稚園・小学校）	43
★大学院専修免許状（教科又は教職に関する科目）	44
2. 教育実習について	52
(1) 教育実習とは	52
(2) 教育実習履修資格	52
(3) 実習校の種類	53
(4) 教育実習の手続きについて	54
(5) 教育実習の履修について	54
3. 教員免許状の申請について	54
(1) 一括申請	55
(2) 個人申請	55
II 社会教育主事課程編	
1. 社会教育主事について	56
2. 社会教育主事課程の内容	56
3. 受講手続き	56
4. 社会教育主事課程科目一覧	57
III その他	
1. 卒業後における特設課程不足単位の履修（科目等履修生）	61
2. 各種証明書の発行について	62
3. 実習のための公欠扱いについて	62
IV 資料編	
1. 平成25年度 教員免許状取得状況一覧	63
2. 平成25年度 教職課程登録者数一覧	64
3. 平成26年度 教員採用試験合格者数一覧表（平成25年度実施）	65

1. はじめに

本学においては、特設課程として「教職課程」「社会教育主事課程」を設置しております。

「教職課程」は、教員を志望する者が教育職員免許法にもとづき、教員免許状取得に必要な単位を修得するための課程です。

「社会教育主事課程」は、将来、公民館や青少年施設等社会教育関係の仕事に従事したい者が社会教育法にもとづき社会教育主事資格に必要な単位を修得するための課程です。

これらの資格は、将来教育関係の仕事に就くときに非常に有効な資格でもあります。現場での実習を伴う課程でもあり安易に履修することができません。また、卒業に必要な単位以外に相当数の単位を修得しなければなりませんので1年次より計画的に学習することが求められます。

各課程の内容については、この「特設課程ガイド」を熟読のうえ、慎重に手続きをすすめてください。

2. 特設課程の登録について

(1) 教職課程

- ① 教職課程は、1年次より各 Semester 毎に2年次後期まで登録できます。3年次以降は登録できませんのでご注意ください。
- ② 4月または9月に実施される「教職課程ガイダンス」に必ず出席してください（1回のみ）。この時に配布される教職課程登録カードに必要事項を記入し、パピルスメイト（証明書自動発行機）で教職課程費分の登録申請書を購入した後、教職キャリアセンター窓口へ提出してください。ガイダンス欠席の場合は、登録手続は認められません。

◎ 教職課程費（平成26年度）

中学校・高等学校	50,000円
幼稚園・小学校	50,000円

※但し、高等学校教諭免許状のみ希望の場合は、40,000円。

(2) 社会教育主事課程

- ① 社会教育主事課程は、1年次より各 Semester 毎に登録できます。
- ② 「社会教育主事課程ガイダンス」に出席してください。この時に配布される社会教育主事課程登録カードに記入し、パピルスメイトで社会教育主事課程費分の登録申請書を購入した後、教職キャリアセンター窓口へ提出してください。ガイダンス欠席の場合は、登録手続は認められません。

◎ 社会教育主事課程費（平成26年度）

15,000円

- ③ 本課程を修了した者には、卒業式当日に修了証を授与します。

(3) 登録・申込方法

- ① 「登録カード」の全項目について、黒インク（ボールペン可）で記入してください。
- ② パピルスメイトで課程費分の申請書を購入してください。
- ③ 「登録カード」「課程費分の申請書」を、履修登録最終日の前日までに教職キャリアセンター窓口へ提出してください。期間を過ぎての受付は一切できませんので、注意してください。
※裏面は誓約書になっています。内容を確認し、氏名の記入、押印を忘れずに行ってください。

3. 連絡・お知らせ方法と利用施設について

(1) 教職キャリアセンターからの連絡・お知らせ方法

特設課程（教職課程・社会教育主事課程）に関する案内・通知は、ポータルサイト（個人宛連絡）または教職キャリアセンター掲示板（教育学部棟ロビー）にて行います。定期的を確認するように心掛けてください（ポータルサイトでは、「個人宛連絡」が携帯メールに転送されるように設定してください）。

(2) 利用施設

教職キャリアセンター

〔窓口受付時間〕 月～金：9:30～17:00 / 土：9:30～12:00

〔長期休業期間中の窓口受付時間〕 月～金：10:00～12:00

※日曜日・祝日は休みになります。その他、臨時に変更する場合があります。

場所：教育学部棟1階

特設課程に関する事務を取り扱っています。また、個人面談を行っています。（要予約）質問・相談等、気軽にお越しください。

教職キャリアセンター相談室

窓口日時：月～金：9:30～17:00

場所：教育学部棟3階

相談室では、教員経験の豊富な教職キャリアセンター指導講師が担当し、個別の相談会を開催しています。進路相談や教育実習、教員採用試験における論作文添削・面接練習等の相談に応じます（相談会日程等は、教職キャリアセンター ホームページ又は B 棟掲示板でご確認ください）。

教職自習室

開館日時：月～日：9:00～21:00

休館日：年末年始休業期間・教職キャリアセンター長が必要と認めた日

場所：教職大学院棟2階

教職課程登録者の学習の場として、「教職自習室」を設置しております。

登録手続：教育学部棟1階教職キャリアセンター窓口

登録方法：教職キャリアセンターで即日登録できます。

必要なもの：印鑑、証明写真（2.5cm×2.5cm）

利用者：本学教職大学院生、本学学部生、本学大学院生、科目等履修生で教職課程登録者

I 教 職 課 程 編

教員となるためには、教育職員免許法に基づき、教育職員免許状（以下「教員免許状」という）を取得しなければなりません。教員免許状は、**文部科学省より課程認定を受けた大学**で所定の単位を修得した者に対し、**各都道府県の教育委員会が授与**するものです。

したがって、皆さんが教員免許状を取得するためには、卒業に必要な科目以外に相当数の教職課程の科目の単位を修得しなければなりません。また、共通科目の「日本国憲法」、「体育実技」、「体育講義」及び「外国語コミュニケーション科目」、「情報機器の操作科目」は、必ず1・2年次で修得しておいてください。

あくまで、教職課程は、**教員の養成を前提とし教職に就く意志のある者を対象**に開設しております。教職に就く意志がなく教員免許状さえ取ればよいといったような安易な姿勢で目指さないように強く望みます。教職課程の手続きは、1年次（及び2年次）の初めに行いますが将来の志望を十分に検討したうえで登録手続きをしてください。

1. 教員免許状について

(1) 本学で取得できる免許状の種類と教科

(表 I-1)

学 部	学 科	教 員 免 許 状 の 種 類 と 教 科	
		中学校1種	高等学校1種
経済学部	経 済 学 科	「社 会」	「公 民」「地 理 歴 史」
法学部	法 律 学 科	「社 会」	「公 民」「地 理 歴 史」
文 学 部	人 間 学 科	「英 語」	「英 語」
		「社 会」	「公 民」「地 理 歴 史」
		「国 語」	「国 語」
		「中国語」	「中国語」
経営学部	経 営 学 科	「社 会」	「公 民」「地 理 歴 史」
工 学 部	情報システム工学科	「数 学」	「数 学」「情 報」
	生命情報工学科	「理 科」	「理 科」
	環境共生工学科	「理 科」	「理 科」
教育学部	教 育 学 科	「社 会」	「公 民」「地 理 歴 史」
	児 童 教 育 学 科	小学校1種・幼稚園1種	

※教育学部では、高「地理歴史」「公民」「英語」・中「社会」「英語」・小・幼の教員免許状を同時に取得する道が開かれています。

◎本学大学院で取得できる教員免許状の種類と教科

(表 I - 2)

研究科	専攻	免許状の種類と教科	
経済学研究科	経済学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 地理歴史・公民・商業
法学研究科	法学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 公民
文学研究科	英文学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	英語 英語
	社会学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 公民
	教育学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状	社会 公民
	人文学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 地理歴史・公民
	国際言語教育専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国語 国語 英語 英語
工学研究科	情報システム工学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	数学 数学 情報
	生命情報工学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科 理科
	環境共生工学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科 理科
教職研究科	教職専攻	小学校教諭専修免許状	

(2) 教員免許状取得の方法について

教員免許状を取得するには、教育職員免許法第5条別表第1に定める科目・単位に基づいて本学の指定する科目を履修しなければなりません。

教育職員免許法第5条別表第1

(表 I - 3)

免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数			
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	合計
幼稚園	大学に2年以上在学し62単位 (内体育2単位、日本国憲法2単位、 外国語コミュニケーション2単位、 情報機器の操作2単位を含む)以上修得すること。	4	27	—	31
小学校		4	31	2	37
中学校		10	21	4	35
幼稚園	学士の学位を有すること。	6	35	10	51
小学校		8	41	10	59
中学校		20	31	8	59
高等学校		20	23	16	59
幼稚園	修士の学位を有すること。	6	35	34	75
小学校		8	41	34	83
中学校		20	31	32	83
高等学校		20	23	40	83

- ① はじめて教員免許状の取得を目指す皆さんは、表 I-3（教育職員免許法第 5 条別表第 1）に基づいて単位を修得しなければなりません。
- ② 基礎資格を満たす（卒業等）とともに、「教科に関する科目」・「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の 3 分野で定められた、それぞれ必要な単位を修得すれば教員免許状を取得できます。
- ③ 表 I-3 で示された単位数は、最低修得単位数ですので**本学で履修する科目・単位数は、この単位数を超える場合があります。**
- ④ 各学部の卒業に必要な科目として開講していない教職・教科に関する科目は、各学部で決められた自由選択の範囲内で卒業単位に含まれますが、それを超えた単位数については、卒業に必要な単位として算入されませんので注意してください。
- ⑤ 「教科に関する科目」「教職に関する科目」については、定められた科目表（P14～P52参照）より選択し単位を修得しなければなりません。
- ⑥ 本学では、あくまで 1 種免許状を取得することを前提にカリキュラムを組んでいます。

つぎに、**1. 基礎資格**、**2. 教職に関する科目**、**3. 教科に関する科目**、**4. 教科又は教職に関する科目**、**5. 介護等体験** について説明いたします。

教員免許状を取得するためには、自分で時間割を工夫し、必要な科目を履修しなければなりませんので、次に述べる事柄は必ず熟読してください。また、皆さんが卒業するまで使用する大事な手引きとなりますので、必要な時期に再読するようにしてください。

1. 基礎資格を充足する

幼稚園 1 種・小学校 1 種・中学校 1 種・高等学校 1 種の教員免許状を取得するためには、基礎資格として「学士の学位」を取得することが必要です。従って、各学科の「卒業」が、教員免許状を取得する条件となります。

免許状の種類	基礎資格
1 種教員免許状	学士の学位
2 種教員免許状	短期大学士の称号
専任教員免許状	修士の学位

また、必ず下表の科目を修得していることが教員免許状取得の条件です（教育職員免許法施行規則第66条の6）。できる限り1年次に修得してください。

免許法上の規定		本学が規定する科目
日本国憲法	2単位	「日本国憲法」：2単位
体育	2単位	体育実技Ⅰ・Ⅱから1単位以上 体育講義Ⅰ・Ⅱから2単位以上
外国語コミュニケーション	2単位	EnglishⅠ EnglishⅡ EnglishⅢ EnglishⅣ } から2単位以上
情報機器の操作	2単位	「コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ」から2単位以上*

※ 工学部生命情報工学科は「プログラミング演習Ⅰ」を、情報システム工学科は「情報システム総論」をもって充てることができる。

2. 教職に関する科目

「教職に関する科目」は、教員としての専門的な教養、知識、技術を養うことを目的として学びます。教授の方法に関する科目や児童生徒の理解や人格形成にかかわる科目、また、教育実習等が該当します。

◎教職に関する科目

(表Ⅰ-4)

欄	免許法上の規定	左記科目に含めることが必要な事項	小学校		中学校		高校		幼稚園	
			1種	2種	1種	2種	1種	1種	2種	
第2欄	教職の意義等に関する科目	(1) 教職の意義及び教員の役割 (2) 教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。） (3) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2	2	2	2	2	2	2
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	(1) 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 (2) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） (3) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6	4	6	4	6	6	4	
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	(1) 教育課程の意義及び編成の方法 (2) 各教科の指導法 (3) 道徳の指導法 (4) 特別活動の指導法 (5) 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	22	14	12	4	6	—	—	
	生徒指導、教育相談、進路指導等に関する科目	(1) 教育課程の意義及び編成の方法 (2) 保育内容の指導法 (3) 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	—	—	—	—	—	18	12	
		(1) 生徒指導の理論及び方法 (2) 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 (3) 進路指導の理論及び方法	4	4	4	4	4	—	—	
		(1) 幼児理解の理論及び方法 (2) 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	—	—	—	—	—	2	2	
第5欄	教育実習		5	5	5	5	3	5	5	
第6欄	教職実践演習		2	2	2	2	2	2	2	
合 計			41	31	31	21	23	35	27	

*それぞれの本学該当科目については、別表参照。

中学校・高等学校の教職に関する科目
幼稚園・小学校の教職に関する科目

P14・15参照（表Ⅰ-7・8）
P42参照（表Ⅰ-22）

3. 教科に関する科目

「教科に関する科目」は、教員として直接担当する教科を専門的に研究することを目的として学びます。小学校課程では、9教科という広い範囲にわたっての理解が必要であり、中学校・高等学校課程では社会科であれば歴史や地理等に専門的知識を持つことが求められます。

尚、下表では教員免許法上で「教科に関する科目」について最低限必要とされる単位数が規定されていますが、本学では各免許状を取得するにあたって各教科の基礎的な知識を身につけることを鑑み、カリキュラムが構成されています。

◎教科に関する科目（中学校・高校）※免許法上で規定されている最低取得単位数（表Ⅰ－5）

教科	免許法上の規程	最低取得単位数		教科	免許法上の規程	最低取得単位数		
		中学校1種	高校1種			中学校1種	高校1種	
社会	日本史及び外国史	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	/	ロシア語学	ロシア語学	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	
	地理学(地誌を含む。)				ロシア文学			
	「法学、政治学」				ロシア語コミュニケーション			
	「社会学、経済学」				異文化理解			
地理歴史	「哲学、倫理学、宗教学」	/	/	代数	代数	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	
	日本史				幾何学			
	外国史				解析学			
公民	人文地理学及び自然地理学	/	/	情報学	「確率論、統計学」	/	/	
	地誌				「コンピュータ」			
	「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」				情報社会及び情報倫理			それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」							
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	情報システム(実習を含む。)							
英語	英語学	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	情報		情報通信ネットワーク(実習を含む。)	/	
	英米文学				マルチメディア表現及 び技術(実習を含む。)			
	英語コミュニケーション				情報と職業			
	異文化理解				物理	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得		それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得
国語	国語学(音声言語及び文章 表現に関するものを含む。)	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	理科	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)			
	国文学(国文学史を含む。)				化学		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	
	漢文学				生物		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	
	書道(書写を中心とする。)				地	地学実験(コンピュータ活用を含む。)		
中国語	中国語学	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	それぞれ 1単位以上 計20単位を 修得	合計	20	20		
	中国文学				/		/	
	中国語コミュニケーション							
	異文化理解							

*それぞれの本学該当科目については、別表参照。P16～41（表Ⅰ－9～21）

*教育学部の「英語」免許取得に関しては、ガイダンスで説明します。

◎教科に関する科目（小学校・幼稚園）※免許法上で規定されている最低取得単位数（表Ⅰ－6）

免許法上の規定	最低取得単位数			
	小学校		幼稚園	
	1種	2種	1種	2種
*国語 （書写を含む。）	全9教科のうち 1教科以上 8単位以上	全9教科のうち 1教科以上 4単位以上	*印6教科のうち 1教科以上 6単位以上	*印6教科のうち 1教科以上 4単位以上
社会				
*算数				
理科				
*生活				
*音楽				
*図画工作				
*体育				
家庭				
合計	8	4	6	4

*それぞれの本学該当科目については、別表参照。P43（表Ⅰ－23）

4. 教科又は教職に関する科目

「教科に関する科目」「教職に関する科目」において定められた最低修得単位数を超えて修得した単位について、中学校1種で8単位、高等学校1種で16単位、小学校1種で10単位、幼稚園1種で10単位が、「教科又は教職に関する科目」の単位として認定されます。

	小 学 校		中 学 校		高等學校	幼 稚 園	
	1種	2種	1種	2種	1種	1種	2種
「教科又は教職に関する科目」の単位数	10	2	8	4	16	10	

5. 介護等体験

小学校・中学校の教員免許状を取得する場合に7日間の介護等の体験が義務づけられています。従いまして、7日間以上の介護等体験を行わなければ、小・中の教員免許状を取得することができません。この介護等体験は、大学が一括して教育委員会・社会福祉協議会に申請して行わせていただくものです。下記のガイダンスに出席し、大学の指導に従って手続を行ってください。

詳細は、教職課程ガイダンスで説明しますが、概要は、以下の通りです。

1. 小学校・中学校の教員免許状取得を希望する者は、**2年次後期**に行われる「介護等体験登録ガイダンス」に必ず出席すること。(介護等体験諸費用 16,000円、10月頃納付期限)

※ガイダンス日程は、ポータルサイトまたはオリエンテーション一覽でお知らせします。

2. 教育実習の前年度までに7日間の介護等体験を行い、施設長又は学校長より「介護等体験証明書」を発行してもらう。
3. 介護等体験の7日間について、申し出があった場合のみ「公欠」を認める。

4. 介護等体験を要しない者

介護等体験特例法では、以下の者について、介護等体験を要しないことになっています。

- (1)専門的知識及び技術を有するもの

次の免許・資格を有している者

保健士、看護師、准看護師、盲・聾・養護学校教員、

理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士又は義肢装具士

※これらの免許・資格が取得見込みの場合は、介護等体験が必要になります。

- (2)介護等体験を行うことが困難な者

身体障害者手帳に、障害の程度が1級から6級であるとして記載されている者

以上の者については、介護等体験を要しません。なお、これらの者についても、法律上は要しないとされますが、本人の希望がある場合は、「本人の身体の状況、受入施設の状況等を総合的に勘案しつつ、可能な限りその意思を尊重することが望ましい」とされています。

※ガイダンス、事前講義に1度でも欠席・遅刻・早退した場合は、介護等体験を実施できません。(公欠に該当する場合を除く)

(3) 関門制度・教職実践演習について

◆関門制度

介護等体験（小学校・中学校免許取得希望者のみ）と教育実習を登録する際に関門があります。条件を満たさない場合、介護等体験・教育実習が実施できなくなり卒業時までには教員免許状が取得出来なくなります。

第1 関門（介護等体験登録時）

2年生前期までの通算GPA 3.0以上の者が介護等体験登録可。

※幼稚園または高校免許のみ取得希望の者は対象外

第2 関門（教育実習登録時）

2年生後期までの通算GPA 3.0以上の者が教育実習登録可。

※教育学部で幼小・中高免許を同時取得する者は1年次後期までの通算GPAが基準

◆教職実践演習

2009年4月の教育職員免許法改正により、教員免許状取得のために新たな科目の修得が義務付けられました。「教職実践演習」という科目になります。

この教職実践演習は4年生後期開設科目であり、上記関門を経て、介護等体験・教育実習をおこなった後に履修することになります。教職実践演習は、教師としての資質を最終的に確認・補う科目であり、教員免許状取得のための集大成となります。4年間の履修科目の成績等を確認し、ゼミ形式で授業は行われます。

【注意点】

教職実践演習を修得せずに卒業した場合、他大学（本学の通信教育部を含む）で教職実践演習は修得できない可能性があります。理由は、上記で説明したとおり、この科目は4年間の集大成であり、4年間の履修科目の成績等を考慮する必要があるためです。創価大学で修得した教員免許状取得のための科目の履修状況を他大学が調べることは困難であり、この科目を単独で履修させてくれる可能性が低いからです。ちなみに創価大学では他大学出身者に教職実践演習は開講しません。

※履修カルテの作成（学習ポートフォリオ）

教職課程登録者は、教員免許状取得のために履修した科目の「履修カルテ」を作成する必要があります。本学では学習ポートフォリオを利用して作成します。

入力方法等は「教職課程ガイダンス」で説明します。

(4) 教員免許状取得までのおもなスケジュール

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	教職課程登録ガイダンス			
		学校インターンシップガイダンス		
5月	教員採用試験対策ガイダンス		教育実習登録ガイダンス	
			教員採用1次試験 対策講座説明会	人物試験対策講座
6月			教員採用1次試験 対策講座申し込み	
7月			教員採用1次試験 対策講座開始(11月まで)	教員免許状一括申請 登録ガイダンス
				教員採用試験1次試験
8月				教員採用2次試験 対策講座
				教員採用試験2次試験
9月	教職課程登録ガイダンス			
		介護等体験登録ガイダンス		
		学校インターンシップ後期登録		
			教育実習事前講義	
10月				教員採用試験合格発表
11月				
12月			教育実習事前講義	教員免許状一括申請 確認ガイダンス
		介護等体験事前講義	人物試験対策講座	
1月			人物試験対策講座	
2月			教育実習事前講義	教員免許状授与判定発表
			人物試験対策講座	
3月			教育実習事前講義	教員免許状授与(卒業式)
			教育実習判定	
			人物試験対策講座	

(5) 教職・教科に関する科目・学科別一覧

教職・教科に関する科目 学科別一覧

◆教職に関する科目（中学校・高等学校） P 14, 15 表 I - 7, 8

●教科に関する科目（中学校・高等学校）

○経済学科（中 1 / 社会、高 1 / 地理歴史、高 1 / 公民） . P 16 表 I - 9

○法律学科（中 1 / 社会、高 1 / 地理歴史、高 1 / 公民） . P 18 表 I - 10

○人間学科（中 1 / 英語、高 1 / 英語） P 20 表 I - 11

（中 1 / 社会、高 1 / 地理歴史、高 1 公民） . . P 23 表 I - 12

（中 1 / 国語、高 1 / 国語） P 28 表 I - 13

（中 1 / 中国語、高 1 / 中国語） P 30 表 I - 14

（中 1 / ロシア語、高 1 / ロシア語） P 32 表 I - 15

○経営学科（中 1 / 社会、高 1 / 地理歴史、高 1 / 公民） . P 34 表 I - 16

○教育学科（中 1 / 社会、高 1 / 地理歴史、高 1 / 公民） . P 36 表 I - 17

○情報システム工学科

（中 1 / 数学、高 1 / 数学、高 1 / 情報） . . . P 38 表 I - 18, 19

○生命情報工学科（中 1 / 理科、高 1 / 理科） P 40 表 I - 20

○環境共生工学科（中 1 / 理科、高 1 / 理科） P 41 表 I - 21

◆教職に関する科目（幼稚園・小学校） P 42 表 I - 22

●教科に関する科目（幼稚園・小学校） P 43 表 I - 23

★大学院専修免許状（教科又は教職に関する科目） P 44

◆教職に関する科目（中・高）

○中学1種・高校1種免許各科目共通（教育学科）

（表Ⅰ－7）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規程			本学の規程									
			最低取得単位数			該当科目	単 位	時 間 割	履 修 年 次	最低取得単位数		
			中1	中2	高1					中1	中2	高1
第二欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2	2	教職概論：教育	2	教育	1	2	2	2
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） 進路選択に資する各種の機会の提供等										
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	4	6	教育学概論Ⅰ：教育	2	教育	1	}2	}2	}2
		教育心理学Ⅰ：教育※1				3	教育	2				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）				2	教育	2	}2	}2	}2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項				2	教育	2				
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	4	6	教育行財政学：教育	2	教育	3	2	2	2
		各教科の指導法				社会科教育法Ⅰ	2	教職	2	2	2	
						社会科教育法Ⅱ（地歴科含む）	2	教職	2	2	2	
						社会科教育法Ⅲ（公民科含む）	2	教職	3	2	2	
						地理歴史科教育法	2	教職	2		2	
						公民科教育法	2	教職	2		2	
		道徳の指導法				2	教育	2	2	2		
	特別活動の指導法	2	教育	2	2	2	2					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	3	教育	3	2	2	2					
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	4	4	生徒・進路指導論：教育	2	教育	2	2	2	2
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 進路指導の理論及び方法		2				教育	2	2	2	2		
第五欄	教育実習	教育実習（中・高）	5	5	3	5	※3	4	5	5		
		教育実習（高）	3			3	※3	4			3	
第六欄	教職実践演習	2	2	2	教職実践演習：教育	2	教育	4	2	2	2	

※1 児教生は「教育心理」を履修すること。

※2 児教生は「教育方法」を履修すること。

※3 教育実習の履修登録は、実習を行う年度の「授業時間割」を参照すること。

◎各教科の指導法については、取得を希望する免許状に該当する科目をそれぞれ必要単位数修得すること。

高等学校1種地歴科免許状を希望する場合は「地理歴史科教育法」に加え、「社会科教育法Ⅱ（地歴科含む）」を、高等学校1種公民科免許状を希望する場合は「公民科教育法」に加え、「社会科教育法Ⅲ（公民科含む）」を修得すること。

◎教職実践演習を履修するには、3年次後期に登録が必要です。

◆教職に関する科目（中・高）

○中学1種・高校1種免許各科目共通（教育学科以外）

（表I-8）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規程				本学の規程								
				最低取得単位数			該当科目	単位	時間割	履修年次	最低取得単位数	
中1	中2	高1	中1	中2	高1							
第二欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、服 務及び身分保障等を含む。） 進路選択に資する各種の機 会の提供等	2	2	2	教職概論：教職	2	※1	1	2	2	2
		教育の理念並びに教育に関 する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身 の発達及び学習の過程（障害 のある幼児、児童及び生徒の心身 の発達及び学習の過程を含む。） 教育に関する社会的、制度的 的又は経営的事項 教育課程の意義及び編成の方法	6	4	6	教育原論	2	教職	1	2	2	2
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育心理	2	2	2	1	2		2	2		
		教育行政	2	3	2	2	2					
第四欄	教育課程導 及及び法に 関する科目	各教科の指導法	12	4	6	社会科教育法Ⅰ	2	教職 ※2	2	2	2	
						社会科教育法Ⅱ（地歴科含む）	2		2	2	2	
						社会科教育法Ⅲ（公民科含む）	2		3	2	2	
						地理歴史科教育法	2		2	2	2	
						公民科教育法	2		2	2	2	
						英語科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
						英語科教育法Ⅱ	2		2	2	2	
						英語科教育法Ⅲ	2		3	2	2	
						英語科教育法Ⅳ	2		3	2	2	
						国語科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
						国語科教育法Ⅱ	2		2	2	2	
						国語科教育法Ⅲ	2		3	2	2	
						国語科教育法Ⅳ	2		3	2	2	
						中国語科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
						中国語科教育法Ⅱ	2		2	2	2	
						中国語科教育法Ⅲ	2		3	2	2	
						中国語科教育法Ⅳ	2		3	2	2	
						ロシア語科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
						ロシア語科教育法Ⅱ	2		2	2	2	
						ロシア語科教育法Ⅲ	2		3	2	2	
						ロシア語科教育法Ⅳ	2		3	2	2	
						数学科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
						数学科教育法Ⅱ	2		2	2	2	
						数学科教育法Ⅲ	2		3	2	2	
						数学科教育法Ⅳ	2		3	2	2	
						情報科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
						情報科教育法Ⅱ	2		2	2	2	
						理科教育法Ⅰ	2		2	2	2	
理科教育法Ⅱ	2	2	2	2								
理科教育法Ⅲ	2	3	2	2								
理科教育法Ⅳ	2	3	2	2								
道徳教育論	2	2	2	2								
特別活動：教職	2	2	2	2								
教育方法	2	3	2	2	2							
第五欄	教育実習	生徒指導の理論及び方法	4	4	4	生徒・進路指導論：教職	2	教職	2	2	2	2
		教育相談（カウンセリングに関する 基礎的な知識を含む。）の理論及 び方法				2	2		2	2		
		進路指導の理論及び方法				2	2		2	2		
第六欄	教職実践演習	教育実習（中・高）	5	5	3	教育実習（中・高）	5	※3	4	5	5	
		教育実習（高）				3	4			3		
		教職実践演習：教職	2	2	2	2	教職	4	2	2	2	

※1 「教職概論」は、所属する学部・学科の時間割に配当されている科目を履修すること。
 ※2 各教科の指導法のうち「英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」「国語科教育法Ⅰ～Ⅳ」「中国語教育法Ⅰ～Ⅳ」「ロシア語教育法Ⅰ～Ⅳ」については人間学科の専門科目となります。
 ※3 教育実習の履修登録は、実習を行う年度の「授業時間割」を参照すること。
 ◎各教科の指導法については、取得を希望する免許状に該当する科目をそれぞれ必要単位数修得すること。
 ◎高等学校1種地歴科免許状を希望する場合は「地理歴史科教育法」に加え、「社会科教育法Ⅱ（地歴科含む）」を、高等学校1種公民科免許状を希望する場合は「公民科教育法」に加え、「社会科教育法Ⅲ（公民科含む）」を修得すること。
 ◎教職実践演習を履修するには、3年次後期に登録が必要です。

●教科に関する科目（中・高）

○**経済学科**（中/社会、高/地理歴史、高/公民）

（表Ⅰ－９）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数			
中学校/社会	高等学校		教科に関する科目				中/社会	高/地理歴史	高/公民	
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位				
日本史 及び 外国史	地 理 歴 史	日本史	日本史Ⅰ	教職	2	2	○		○	公民免許にこの科目は使用できません
			日本史Ⅱ	教職	2	2	○		○	
			日本経済史	経済	2	4				
			現代経済史	経済	3～4	4				
		外国史Ⅰ（西洋史）	教職	2	2	○		○		
		外国史Ⅱ（東洋史）	教職	2	2	○		○		
		西洋文化史	教職	3	2					
		西洋社会史	教職	3	2					
		東洋文化史Ⅰ	教職	3	2					
		東洋文化史Ⅱ	教職	3	2					
		経済と歴史	経済	1	4					
		西洋経済史	経済	2	4					
		経済学史	経済	3～4	4					
		地理学 （地誌を含む。）	人文地理学 及び 自然地理学	地理学Ⅰ	教職	2	2	○		
地理学Ⅱ	教職			2	2	○		○		
人文地理学	教職			3	2			○		
自然地理学	教職			3	2			○		
開発と貧困の経済学	経済			2	4					
地誌	地誌学	教職	3	2	○		○			
「法学、 政治学」	「法学 （国際法を含む。） 政治学 （国際政治を 含む。）」	法学	教職	1	2	○			○	
		政治学原論	教職	2	4				○	
		法と経済A	経済	2	4					
		法と経済B	経済	3～4	4					
「社会学、 経済学」	公 民	ミクロ経済学	経済	1	4				地理歴史免許にこの科目は使用できません	
		マクロ経済学	経済	1	4					
		日本経済論	経済	2	4					
		基礎統計学A	経済	1	4					
		基礎統計学B	経済	1	4					
		統計学	経済	3～4	4					
		経済数学入門A	経済	1	4					
		経済数学入門B	経済	1	4					
		経済数学	経済	2	4					
		公共経済論	経済	3～4	4					
		マクロ経済学中級	経済	2	4					
		ミクロ経済学中級	経済	2	4					
		ミクロ経済学上級	経済	3～4	4					
		マクロ経済学上級	経済	3～4	4					
		計量経済学	経済	3～4	4					
		ファイナンス理論	経済	3～4	4					
金融論	経済	2	4							
財政学	経済	2	4							

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数			
中学校／社会	高等学校		教科に関する科目				中／社会	高／地理歴史	高／公民	
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位				
「社会学, 経済学」	公 民	「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	財政学上級	経済	3～4	4			地理歴史免許にこの科目は使用できません	
			グローバル経済Ⅰ	経済	2	2				
			グローバル経済Ⅱ	経済	2	2				
			環境経済論	経済	2	4				
			アジア経済論	経済	3～4	2				
			アフリカ経済論	経済	3～4	2				
			中国経済論	経済	3～4	2				
			ロシア・ユーラシア経済論	経済	3～4	2				
			人間主義経済学	経済	3～4	2				
			労働経済論	経済	2	4				
			国際経済論	経済	2	4				
			簿記入門	経済	1	2				
			簿記演習	経済	2	2				
			会計学	経済	3～4	4				
			Global Economy Lecture	経済	1	2				
			Economics Lecture A	経済	1	4				
Economics Lecture B	経済	1	4							
「哲学, 倫理学, 宗教学」		「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲学概論Ⅰ	教職	2	2	※	※印を1科目2単位以上含む	※	※印を1科目2単位以上含む
			哲学概論Ⅱ	教職	2	2	※		※	
			倫理学概論Ⅰ	教職	2	2	※		※	
			倫理学概論Ⅱ	教職	2	2	※		※	
			宗教学Ⅰ	教職	2	2	※		※	
			宗教学Ⅱ	教職	2	2	※		※	
			心理学概論Ⅰ	教職	1	2	—		※	
			心理学概論Ⅱ	教職	1	2	—		※	
中1／社会20以上	高1／地理歴史20以上 高1／公民20以上		計				中学1種免／ 28単位以上	高校1種免(地歴)／ 36単位以上	高校1種免(公民)／ 36単位以上	

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、—は使用できない科目)

●教科に関する科目（中・高）

○法律学科（中/社会、高/地理歴史、高/公民）

（表Ⅰ－10）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数				
中学校/社会	高等学校		教科に関する科目				中/社会	高/地理歴史	高/公民		
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位					
日本史 及び 外国史	地 理 歴 史	日本史	日本史Ⅰ	教職	2	2	○		○	公民免許にこの科目は使用できません	
			日本史Ⅱ	教職	2	2	○		○		
			法史学	法律	3	4					
			日本政治思想史	法律	3	4					
			日本政治外交史	法律	3	2					
		外国史	外国史Ⅰ（西洋史）	教職	2	2	○		○		
			外国史Ⅱ（東洋史）	教職	2	2	○		○		
			西洋文化史	教職	3	2					
			西洋社会史	教職	3	2					
			東洋文化史Ⅰ	教職	3	2					
			東洋文化史Ⅱ	教職	3	2					
			国際関係史	法律	2	2					
			政治学史	法律	2	4					
			法思想史	法律	3	4					
地理学 (地誌を含む。)	人文地理学 及び 自然地理学	地理学Ⅰ	教職	2	2	○		○			
		地理学Ⅱ	教職	2	2	○		○			
		人文地理学	教職	3	2			○			
		自然地理学	教職	3	2			○			
	地誌	地誌学	教職	3	2	○		○			
「法律学, 政治学」	公 民	「法律学 (国際法を 含む。) 政治学 (国際政治 を含む。)」	法学	教職	1	2	○			○	
			憲法総論・統治機構論	教職	1	4					
			民法総則	法律	1	4					
			刑法総論	法律	2	4					
			政治学	法律	1	2					
			国際政治論	法律	2	4					
			国際法総論	法律	2	4					
			憲法人権論	法律	1	4					
			物権法	法律	2	4					
			会社法	法律	3	4					
			債権総論	法律	2	4					
			債権各論	法律	3	4					
			刑法各論	法律	2	4					
			政治学原論	法律	1	4					
			行政法総論	法律	2	4					
			行政救済法	法律	2	4					
			親族・相続法	法律	3	4					
			比較憲法	法律	3	4					
民事訴訟法	法律	3	4								
民事救済手続法	法律	3	4								
刑事訴訟法	法律	3	4								

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数						
中学校／社会		高等学校		教科に関する科目				中／社会		高／地理歴史		高／公民	
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位							
「法学、政治学」	公	「法学 (国際法を含む。) 政治学 (国際政治を含む。)」	国際法各論	法律	2	4			地理歴史免許にこの科目は使用できません				
			労働法	法律	3	4							
			消費者法	法律	3	2							
			公共政策論	法律	2	2							
			環境法	法律	3	4							
			国際人権法	法律	2	2							
			国際機構論	法律	3	2							
「社会学、経済学」	民	「社会学 経済学 (国際経済学を含む。)」	社会学概論	教職	1	2	◎				◎		
			法社会学	法律	3	4							
「哲学、倫理学、宗教学」	民	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ	教職	2	2	※	※印を1科目以上含む			※	※印を1科目以上含む	※
			哲学概論Ⅱ	教職	2	2	※		※				
			倫理学概論Ⅰ	教職	2	2	※		※				
			倫理学概論Ⅱ	教職	2	2	※		※				
			宗教学Ⅰ	教職	2	2	※		※				
			宗教学Ⅱ	教職	2	2	※		※				
			心理学概論Ⅰ	教職	1	2	—		※				
心理学概論Ⅱ	教職	1	2	—	※								
中1／社会20以上	高1／地理歴史20以上 高1／公民20以上		計				中学1種免／ 28単位以上	高校1種免(地歴)／ 36単位以上	高校1種免(公民)／ 36単位以上				

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、—は使用できない科目)

●教科に関する科目 (中・高)

○人間学科 英語免許コース (中・高/英語)

(表 I - 11)

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規程 免許法施行規則に 定める科目区分	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数
	科目名	時間割	履修年次	単位	
英語学	英語学概論 I	人間	1	2	◎
	英語学概論 II	人間	1	2	◎
	英語文化への招待	人間	1	2	
	中・古期英語史と文化	人間	2	2	
	近代英語史と文化	人間	2	2	
	英語音声学	人間	2	2	
	英文法研究 I	人間	2	2	
	英文法研究 II	人間	2	2	
	認知英語学 I	人間	2	2	
	認知英語学 II	人間	2	2	
	日英語比較概説	人間	1	2	
	日英語比較研究	人間	2	2	
	英語語用論	人間	2	2	
	Text Studies	人間	1	2	
	言語創造論	人間	2	2	
	English in Society	人間	2	2	
	English in Institutions	人間	2	2	
	Second Language Acquisition Basic	人間	1	2	
	Second Language Acquisition Advanced	人間	2	2	
	Second Language Classrooms	人間	3	2	
Teaching and Testing Materials	人間	3	2		
Teaching Academic English	人間	3	2		
英米文学	英米文学概論 I	人間	2	2	◎
	英米文学概論 II	人間	2	2	◎
	Reading : Literary Works I	人間	1~2	2	
	Reading : Literary Works II	人間	1~2	2	
	英米文学講読 I	人間	2	2	
	英米文学講読 II	人間	2	2	
	神話・聖書と文学	人間	2	2	
	アメリカ古典文学史	人間	2	2	
	アメリカ近代文学史	人間	2	2	
	イギリス古典文学史	人間	2	2	
	イギリス近代文学史	人間	3	2	
	イギリス小説・散文研究	人間	3	2	
	英米児童文学研究	人間	3	2	
	アメリカ小説・散文研究	人間	3	2	

免許法上の規程 免許法施行規則に 定める科目区分	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数	
	科目名	時間割	履修年次	単位		
英米文学	英米詩・戯曲研究	人間	3	2		
	英米文学特講 I	人間	3	2		
	英米文学特講 II	人間	3	2		
	演劇論	人間	3	2		
	演劇入門	人間	2	2		
	Literature I	人間	1~4	2		
	Literature II	人間	1~4	2		
	Stylistics	人間	1	2		
英語 コミュニケーション	Oral Communication in English I	人間	1~2	1	※ } ※	1科目1単位 選択必修
	Oral Communication in English II	人間	1~2	1		
	Translation Basic I	人間	1~2	2		
	Translation Basic II	人間	1~2	2		
	Academic Writing A I	人間	1~2	2		
	Academic Writing A II	人間	1~2	2		
	Academic Writing B I	人間	1~2	2		
	Academic Writing B II	人間	1~2	2		
	Global Issues in English A I	人間	1~2	2		
	Global Issues in English A II	人間	1~2	2		
	Global Issues in English B I	人間	1~2	2		
	Global Issues in English B II	人間	1~2	2		
	Interpretation A I	人間	2	2		
	Interpretation A II	人間	2	2		
	Interpretation B I	人間	2	2		
	Interpretation B II	人間	2	2		
	Translation A I	人間	2	2		
	Translation A II	人間	2	2		
	Translation B I	人間	2	2		
	Translation B II	人間	2	2		
	Translation Studies	人間	2	2		
	Mass Communication	人間	1	2		
	Interpersonal Communication	人間	1	2		
英語特講 A	人間	2	2			
英語特講 B	人間	2	2			

免許法上の規程	本 学 の 規 定				教科別最低修得科目・単位数	
免許法施行規則に定める科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位		
異文化理解	比較文化Ⅰ	人間	1	2	※	2科目4単位いずれか選択必修
	比較文化Ⅱ	人間	1	2	※	
	Intercultural Communication	人間	2	2	※	
	Global Communication	人間	2	2	※	
中1／英語20以上 高1／英語20以上	計				中学1種免／28単位以上 高校1種免／36単位以上	

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目)

●教科に関する科目（中・高）

○人間学科 社会免許コース（中/社会、高/地理歴史、高/公民）（表Ⅰ-12）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数			
中学校/社会	高等学校		科目名	時間割	履修年次	単位	中/社会	高/地理歴史	高/公民	
科目区分	教科	科目区分								
日本史 及び 外国史	地 理 史	日本史	日本史概説Ⅰ	人間	2	2	◎	◎	公民免許にこの科目は使用できません	
			日本史概説Ⅱ	人間	2	2	◎	◎		
			比較文化史概論	人間	1	2				
			比較文化史	人間	2	2				
			日本思想史Ⅰ	人間	2	2				
			日本思想史Ⅱ	人間	2	2				
			近現代史研究	人間	3	2				
			近現代史研究応用	人間	3	2				
			古文書学	人間	3	2				
			古文書学応用	人間	3	2				
			歴史学特講AⅠ	人間	3	2				
			歴史学特講AⅡ	人間	3	2				
			民俗学Ⅰ	人間	3	2				
			民俗学Ⅱ	人間	3	2				
	外国史	地 理 史	外国史	西洋史概説Ⅰ	人間	2	2	◎		◎
				東洋史概説Ⅰ	人間	2	2	◎		◎
				社会学史概説	人間	2	2			
				歴史学への招待	人間	1	2			
				歴史学概論	人間	1	2			
				考古学概論	人間	1	2			
				ユーラシア考古学	人間	2	2			
				東洋史概説Ⅱ	人間	2	2			
				西洋史概説Ⅱ	人間	2	2			
				東洋文化史Ⅰ	人間	3	2			
				東洋文化史Ⅱ	人間	3	2			
				西洋文化史	人間	3	2			
				西洋社会史	人間	3	2			
				中央ユーラシア史	人間	3	2			
ユーラシア交流論	人間	3	2							
歴史学特講BⅠ	人間	3	2							
歴史学特講BⅡ	人間	3	2							

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数				
中学校/社会	高等学校		科目名	時間割	履修年次	単位	中/社会	高/地理歴史	高/公民		
科目区分	教科	科目区分									
日本史 及び 外国史	地理 歴史	外国史	国際関係史	人間	3	2				公民免許にこの科目は使用できません	
			ユーラシア研究入門	人間	1	2					
			歴史学特講C I	人間	3	2					
			歴史学特講C II	人間	3	2					
地理学 (地誌を含む。)		人文地理学 及び 自然地理学	地理学 I	教職	2	2	◎		◎		
			地理学 II	教職	2	2	◎		◎		
			人文地理学	教職	3	2			◎		
			自然地理学	教職	3	2			◎		
			地域と都市の社会学 I	人間	2	2					
			地域と都市の社会学 II	人間	3	2					
			東アジア共同体と安全保障論	人間	3	2					
			中東文化論 I	人間	3	2					
	中東文化論 II		人間	3	2						
	ドイツ言語文化研究 I		人間	2	2						
	ドイツ言語文化研究 II		人間	2	2						
スペイン言語文化研究 I	人間	2	2								
スペイン言語文化研究 II	人間	2	2								
	地誌学	地誌学	教職	3	2	◎		◎			
「法学、 政治学」	公	「法学 (国際法を 含む。)、 政治学 (国際政治 を含む。)」	法学	教職	1	2	◎			地理歴史免許にこの科目は使用できません	
			政治学原論	教職	2	4					
			国際社会論	人間	3	2					
			国際関係論 II	人間	1	2					
			政治と権力の社会学 I	人間	2	2					
「社会学、 経済学」	民	「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	社会学概論	人間	1	2	◎				◎
			ジャーナリズムの社会学 I	人間	2	2					
			社会学への招待	人間	1	2					
			社会調査方法論	人間	2	2					
			社会調査の基礎	人間	1	2					
			家族の社会学	人間	2	2					
			産業と労働の社会学 I	人間	2	2					

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数		
中学校/社会	高等学校		科目名	時間割	履修年次	単位	中/社会	高/地理歴史	高/公民
科目区分	教科	科目区分							
「社会学、 経済学」	公 民	「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	産業と労働の社会学Ⅱ	人間	3	2			
			サーベイ調査実習	人間	3	2			
			フィールド調査実習	人間	3	2			
			教育の社会学	人間	2	2			
			理論社会学	人間	3	2			
			社会問題の社会学	人間	2	2			
			質的調査分析法	人間	2	2			
			メディアと社会心理Ⅱ	人間	2	2			
			メディア産業の社会学Ⅰ	人間	2	2			
			メディア産業の社会学Ⅱ	人間	3	2			
			ジャーナリズムの社会学Ⅱ	人間	3	2			
			国際関係論Ⅰ	人間	1	2			
			人間の安全保障	人間	3	2			
			比較文化文献研究Ⅰ	人間	2	2			
			比較文化文献研究Ⅱ	人間	2	2			
			平和・紛争解決学入門	人間	1	2			
			平和学	人間	3	2			
			文化人類学Ⅰ	人間	1	2			
			文化人類学Ⅱ	人間	2	2			
			ジェンダーの社会学	人間	2	2			
			比較文化論Ⅱ	人間	3	2			
			社会福祉概論Ⅰ	人間	2	2			
			社会福祉概論Ⅱ	人間	2	2			
			地域福祉論Ⅰ	人間	3	2			
			地域福祉論Ⅱ	人間	3	2			
			児童福祉論Ⅰ	人間	2	2			
			児童福祉論Ⅱ	人間	2	2			
			高齢者福祉論Ⅰ	人間	3	2			
			高齢者福祉論Ⅱ	人間	3	2			
			障害者福祉論Ⅰ	人間	2	2			
			障害者福祉論Ⅱ	人間	2	2			
			Peace StudiesⅠ	人間	1~4	2			
Peace StudiesⅡ	人間	1~4	2						

地理歴史免許にこの科目は使用できません

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数			
中学校／社会	高等学校		科目名	時間割	履修年次	単位	中／社会	高／地理歴史	高／公民	
科目区分	教科	科目区分								
「社会学、 経済学」		「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	歴史の社会学Ⅰ	人間	2	2				
			歴史の社会学Ⅱ	人間	3	2				
			平和構築ワークショップⅠ	人間	3	2				
			平和構築ワークショップⅡ	人間	3	2				
			平和構築ワークショップⅢ	人間	3	2				
			政治と権力の社会学Ⅱ	人間	3	2				
			社会福祉入門	人間	1	2				
			資料収集・データ分析法	人間	2	2				
			社会統計学	人間	2	2				
「哲学、 倫理学、 宗教学」	公	「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	哲学概論Ⅰ	人間	2	2	※	1科目	※	1科目
			哲学概論Ⅱ	人間	2	2	※	2単位	※	2単位
			倫理学概論Ⅰ	人間	2	2	※	以上	※	以上
			倫理学概論Ⅱ	人間	2	2	※	選択	※	選択
			宗教学Ⅰ	人間	2	2	※		※	
			宗教学Ⅱ	人間	2	2	※		※	
			心理学概論Ⅰ	教職	1	2	—		※	
			心理学概論Ⅱ	教職	1	2	—		※	
			メディアと社会心理Ⅰ	人間	1	2	—		※	
			比較文化論Ⅰ	人間	2	2			※	
			宗教の社会学Ⅰ	人間	2	2			※	
	人間と文化	人間	1	2			※			
	論理学Ⅰ	人間	2	2			※			
	論理学Ⅱ	人間	2	2			※			
	東洋思想特講A	人間	3	2			※			
	東洋思想特講B	人間	3	2			※			
	倫理学特講A	人間	3	2			※			
	倫理学特講B	人間	3	2			※			
	哲学特講A	人間	3	2			※			
	哲学特講B	人間	3	2			※			
	哲学特講C	人間	3	2			※			
	哲学特講D	人間	3	2			※			
宗教の社会学Ⅱ	人間	3	2			※				
哲学入門	人間	1	2			※				
仏教思想入門	人間	1	2			※				

地理歴史免許にこの科目は使用できません

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数		
中学校／社会	高等学校		科目名	時間割	履修年次	単位	中／社会	高／地理歴史	高／公民
科目区分	教科	科目区分							
「哲学、倫理学、宗教学」	公 民	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	仏教思想概論	人間	1	2			
			西洋哲学史(近代)	人間	2	2			
			西洋哲学史(古代)	人間	1	2			
			西洋哲学史(中世)	人間	1	2			
			東洋思想史Ⅰ	人間	2	2			
			東洋思想史Ⅱ	人間	2	2			
			哲学講読(英語)A	人間	2	2			
			哲学講読(英語)B	人間	2	2			
			哲学講読(ドイツ語)A	人間	2	2			
			哲学講読(ドイツ語)B	人間	2	2			
			哲学講読(フランス語)A	人間	2	2			
			哲学講読(フランス語)B	人間	2	2			
			東洋思想講読(中国語)A	人間	2	2			
東洋思想講読(中国語)B	人間	2	2						
中1／社会20以上	高1／地理歴史20以上 高1／公民20以上		計				中学1種免／ 28単位以上	高校1種免(地歴)／ 36単位以上	高校1種免(公民)／ 36単位以上

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、－は使用できない科目)

●教科に関する科目 (中・高)

○人間学科 国語免許コース (中・高/国語)

(表 I - 13)

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定 免許法施行規則に 定める科目区分	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数			
	科目名	時間割	履修年次	単位	中/国語		高/国語	
国語学 (音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	日本語学概論 I	人間	1	2	◎		◎	
	日本語学概論 II	人間	1	2	◎		◎	
	日本語教育入門	人間	1	2				
	日本語教育概論 I	人間	1	2				
	日本語教育概論 II	人間	1	2				
	日本語音声学	人間	2	2				
	日本語の語彙・表記	人間	2	2				
	現代日本語文法 A	人間	2	2				
	現代日本語文法 B	人間	2	2				
	日本語コミュニケーション論	人間	1	2				
	社会言語学	人間	2	2				
	言語学概論 I	人間	2	2				
	言語学概論 II	人間	2	2				
	日本語教授法 I	人間	2	2				
	日本語教授法 II	人間	2	2				
	日本語教材研究 I	人間	2	2				
	日本語教材研究 II	人間	2	2				
	対照言語学 I	人間	2	2				
	対照言語学 II	人間	2	2				
	日本語教育実習	人間	4	2				
	日本語学特講 A	人間	3	2				
	日本語学特講 B	人間	3	2				
	日本語教育学特講 A	人間	3	2				
日本語教育学特講 B	人間	3	2					
日本語教育学特講 C	人間	3	2					
国文学 (国文学史を含む。)	日本文学概論 I	人間	1	2	◎		◎	
	日本文学概論 II	人間	1	2	◎		◎	
	日本文学史	人間	2	2	◎		◎	
	日本古典文学講読	人間	2	2				
	日本近代文学講読	人間	2	2				

免許法上の規定	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数			
免許法施行規則に定める科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位	中／国語		高／国語	
国文学 (国文学史を含む。)	日本古典文学作家作品論A	人間	2	2				
	日本古典文学作家作品論B	人間	2	2				
	日本近代文学作家作品論A	人間	2	2				
	日本近代文学作家作品論B	人間	2	2				
	日本文学特講A	人間	3	2				
	日本文学特講B	人間	3	2				
	日本文学特講C	人間	3	2				
漢文学	漢文学特講 I	人間	2	2	◎		◎	
	漢文学特講 II	人間	2	2	◎		◎	
書道 (書写を中心とする。)	書道 I	人間	1	2	◎		—	
	書道 II	人間	2	2	◎		—	
中1／国語20以上 高1／国語20以上	計				中学 1 種免／ 28単位以上		高校 1 種免／ 36単位以上	

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、—は使用できない科目)

●教科に関する科目（中・高）

○人間学科 中国語免許コース（中・高/中国語）

（表Ⅰ-14）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定 免許法施行規則に 定める科目区分	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数	
	科目名	時間割	履修年次	単位		
中国語学	中国語学中上級Ⅰ	人間	3	2	◎	
	中国語学中上級Ⅱ	人間	3	2	◎	
	中国語文法研究Ⅰ	人間	2	2		
	中国語文法研究Ⅱ	人間	2	2		
	中国語文法初中級Ⅰ	人間	2	2		
	中国語文法初中級Ⅱ	人間	2	2		
	中国語講読初級Ⅰ	人間	1	2		
	中国語講読初級Ⅱ	人間	1	2		
	中国語講読初中級Ⅰ	人間	2	2		
	中国語講読初中級Ⅱ	人間	2	2		
	中国語学特講A	人間	2	2		
	中国語学特講B	人間	2	2		
	通訳演習(中日)A	人間	3	2		
	翻訳演習(中日)A	人間	3	2		
	翻訳演習(中日)B	人間	3	2		
	中国語学概論Ⅰ	人間	1	2		
	中国語学概論Ⅱ	人間	1	2		
	中国語作文中上級Ⅰ	人間	3	2		
	中国語作文中上級Ⅱ	人間	3	2		
中国文学	中国文学Ⅰ	人間	2	2	◎	
	中国文学Ⅱ	人間	2	2	◎	
中国語 コミュニケーション	中国語コミュニケーション演習初級Ⅰ	人間	1	2	◎	
	中国語コミュニケーション演習初級Ⅱ	人間	1	2	◎	
	中国の近現代思想	人間	3	2		
	現代中国概論	人間	1	2		
	中国社会文化論Ⅰ	人間	2	2		
	中国社会文化論Ⅱ	人間	2	2		
	中国語作文初中級Ⅰ	人間	2	2		
	中国語作文初中級Ⅱ	人間	2	2		
	通訳演習(日中)A	人間	3	2		
	通訳演習(日中)B	人間	3	2		
	翻訳演習(日中)A	人間	3	2		

免許法上の規定	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数	
免許法施行規則に定める科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位		
中国語 コミュニケーション	翻訳演習(日中)B	人間	3	2		
	中国語コミュニケーション演習初中級I	人間	2	2		
	中国語コミュニケーション演習初中級II	人間	2	2		
	通訳演習(中日)B	人間	3	2		
	中国語コミュニケーション演習中上級I	人間	3	2		
	中国語コミュニケーション演習中上級II	人間	3	2		
異文化理解	中国社会文化入門I	人間	1	2	◎	
	中国社会文化入門II	人間	1	2	◎	
	中国語学入門I	人間	1	2		
	中国語学入門II	人間	1	2		
	東アジアの政治	人間	2	2		
	中国の政治	人間	2	2		
	東アジアの思想	人間	2	2		
	中国の思想	人間	2	2		
	中国語総合初中級I	人間	2	2		
	中国語総合初中級II	人間	2	2		
	東アジアの経済	人間	2	2		
	中国の経済	人間	2	2		
中1/中国語20以上 高1/中国語20以上	計				中学1種免/28単位以上 高校1種免/36単位以上	

(◎は教職必修科目)

●教科に関する科目（中・高）

○人間学科 ロシア語免許コース（中・高/ロシア語）（表Ⅰ-15）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定 免許法施行規則に 定める科目区分	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数	
	科目名	時間割	履修年次	単位		
ロシア語学	ロシア語学Ⅰ	人間	2	2	◎	
	ロシア語学Ⅱ	人間	2	2	◎	
	ロシア語入門AⅠ	人間	1	1		
	ロシア語入門AⅡ	人間	1	1		
	ロシア語入門BⅠ	人間	1	1		
	ロシア語入門BⅡ	人間	1	1		
	ロシア語文法初級Ⅰ	人間	2	2		
	ロシア語文法初級Ⅱ	人間	2	2		
	ロシア語文法中級Ⅰ	人間	2	2		
	ロシア語文法中級Ⅱ	人間	2	2		
	ロシア語講読入門Ⅰ	人間	2	2		
	ロシア語講読入門Ⅱ	人間	2	2		
	ロシア語文法上級Ⅰ	人間	3	2		
	ロシア語文法上級Ⅱ	人間	3	2		
ロシア文学	ロシア文学入門	人間	1	2	◎	
	ロシア詩の鑑賞	人間	3	2		
	ロシア小説の鑑賞	人間	3	2		
	ロシア文学Ⅰ	人間	3	2		
	ロシア文学Ⅱ	人間	3	2		
	文法研究法入門Ⅰ	人間	1	2		
	文法研究法入門Ⅱ	人間	1	2		
ロシア語 コミュニケーション	ロシア語コミュニケーション初級Ⅰ	人間	1	1	◎	
	ロシア語コミュニケーション初級Ⅱ	人間	1	1	◎	
	ロシア語翻訳初級Ⅰ	人間	2	2		
	ロシア語翻訳初級Ⅱ	人間	2	2		
	ロシア語コミュニケーション中級Ⅰ	人間	2	1		
	ロシア語コミュニケーション中級Ⅱ	人間	2	1		
	時事ロシア語	人間	3	2		
	ロシア語翻訳上級Ⅰ	人間	3	2		

免許法上の規定	本 学 の 規 定				最低修得科目・単位数	
免許法施行規則に定める科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位		
ロシア語 コミュニケーション	ロシア語翻訳上級Ⅱ	人間	3	2	◎	
	ロシア語発音トレーニングⅠ	人間	1	1		
	ロシア語発音トレーニングⅡ	人間	1	1		
	ロシア語コミュニケーション上級Ⅰ	人間	3	1		
	ロシア語コミュニケーション上級Ⅱ	人間	3	1		
異文化理解	ロシアの歴史と文化	人間	2	2		
	現代ロシア概論	人間	1	2		
	東欧の歴史と文化	人間	2	2		
	映画論	人間	2	2		
	スラヴの言語文化Ⅰ	人間	2	2		
	スラヴの言語文化Ⅱ	人間	2	2		
	ロシアの社会	人間	3	2		
	中央アジア論	人間	2	2		
	ロシアの経済	人間	3	2		
	スラヴ比較言語論Ⅰ	人間	2	2		
	スラヴ比較言語論Ⅱ	人間	2	2		
中1／ロシア語20以上 高1／ロシア語20以上	計				中学1種免／28単位以上 高校1種免／36単位以上	

(◎は教職必修科目)

●教科に関する科目（中・高）

○**経営学科**（中/社会、高/地理歴史、高/公民）

（表Ⅰ-16）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数				
中学校/社会	高等学校		教科に関する科目				中/社会	高/地理歴史	高/公民		
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位					
日本史 及び 外国史	地 理 歴 史	日本史	日本史Ⅰ	教職	2	2	○		○	公民免許にこの科目は使用できません	
			日本史Ⅱ	教職	2	2	○		○		
			日本経済史	教職	2	4					
		外国史	外国史Ⅰ（西洋史）	教職	2	2	○		○		
			外国史Ⅱ（東洋史）	教職	2	2	○		○		
			西洋文化史	教職	3	2					
			西洋社会史	教職	3	2					
			東洋文化史Ⅰ	教職	3	2					
			東洋文化史Ⅱ	教職	3	2					
			経済と歴史	教職	1	4					
			経営史	経営	3~4	4					
			国際比較経営史	経営	3~4	2					
			西洋経済史	教職	2	4					
経済学史	教職	3	4								
地理学	史	人文地理学 及び 自然地理学	地理学Ⅰ	教職	2	2	○		○		
			地理学Ⅱ	教職	2	2	○		○		
			人文地理学	教職	3	2			○		
			自然地理学	教職	3	2			○		
			国際地域経営論	経営	3~4	2					
			環境マネジメント	経営	3~4	2					
			多国籍企業論	経営	3~4	2					
		地誌	地誌学	教職	3	2	○		○		
「法学、 政治学」	公 民	「法学 （国際法を 含む。） 政治学 （国際政治 を含む。）」	法学	教職	1	2	○		○		
			政治学原論	教職	2	4			○		
			会社法	経営	2	4					
			労働法	経営	3~4	4					

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数			
中学校／社会	高等学校		教科に関する科目				中／社会	高／地理歴史	高／公民	
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位				
「社会学, 経済学」	公	「社会学 経済学 (国際経済 を含む。)」	経済学入門	経営	2	4	◎	地理歴史免許にこの科目は使用できません	◎	
			社会学概論	教職	1	2			◎	
			日本経済論	教職	2	4				
			マクロ経済学中級	経営	3～4	4				
			ミクロ経済学中級	経営	3～4	4				
			ビジネスのための基礎数学	経営	1	2				
			証券市場論	経営	3～4	4				
			金融論	経営	3～4	4				
			人間主義経営演習	経営	2	2				
			生産管理論	経営	3～4	4				
「哲学, 倫理学, 宗教学」	民	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲学概論Ⅰ	教職	2	2	※	※印を 1科目 2単位 以上 含む	※	※印を 1科目 2単位 以上 含む
			哲学概論Ⅱ	教職	2	2	※		※	
			倫理学概論Ⅰ	教職	2	2	※		※	
			倫理学概論Ⅱ	教職	2	2	※		※	
			宗教学Ⅰ	教職	2	2	※		※	
			宗教学Ⅱ	教職	2	2	※		※	
			心理学概論Ⅰ	教職	1	2	—		※	
心理学概論Ⅱ	教職	1	2	—	※					
中1／社会20以上	高1／地理歴史20以上 高1／公民20以上		計				中学1種免/ 28単位以上	高校1種免(地歴)/ 36単位以上	高校1種免(公民)/ 36単位以上	

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、—は使用できない科目)

●教科に関する科目（中・高）

○**教育学科**（中/社会、高/地理歴史、高/公民）

（表Ⅰ-17）

◆2014年度以降入学生に適用

免許上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数				
中学校/社会	高等学校		教科に関する科目				中/社会	高/地理歴史	高/公民		
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位					
日本史 及び 外国史	地 理 史	日本史	日本史Ⅰ	教職	2	2	○		○	公民免許にこの科目は使用できません	
			日本史Ⅱ	教職	2	2	○		○		
			教育学特講B	教育	3~4	2					
			民俗学Ⅰ	教職	3	2					
			民俗学Ⅱ	教職	3	2					
			教育史A	教育	1	2					
		外国史	外国史Ⅰ（西洋史）	教職	2	2	○		○		
			外国史Ⅱ（東洋史）	教職	2	2	○		○		
			西洋文化史	教職	2	2					
			西洋社会史	教職	2	2					
			東洋文化史Ⅰ	教職	2	2					
			東洋文化史Ⅱ	教職	2	2					
			教育史B	教育	1	2					
地理学	人文地理学 及び 自然地理学	地理学Ⅰ	教職	2	2	○		○			
		地理学Ⅱ	教職	2	2	○		○			
		人文地理学	教職	3	2			○			
		自然地理学	教職	3	2			○			
	地誌	地誌学	教職	3	2	○		○			
「法律学, 政治学」		「法律学 （国際法を 含む） 政治学 （国際政治 を含む。）」	法学	教職	2	2	○		○		
			政治学原論	教職	2	4			○		
「社会学, 経済学」	公 民	「社会学, 経済学 （国際経済 を含む。）」	社会学概論	教職	2	2	○			○	
			教育社会学	教育	2	2					
			生涯学習概論	教育	1	2					
			社会教育概論	教育	1	2					
			社会教育計画Ⅰ	教育	2	2					
			社会教育計画Ⅱ	教育	2	2					
			社会教育特講A	教育	2	2					
			社会教育特講B	教育	3	2					
			社会教育演習	教育	3	4					
			社会教育課題研究Ⅰ	教育	3	2					
			社会教育課題研究Ⅱ	教育	3	2					
			比較・国際教育学A	教育	3	2					
比較・国際教育学B	教育	3	2								
		情報教育論	教育	3	2						

免許法上の規定			本学の規定				教科別最低修得科目・単位数			
中学校／社会		高等学校		教科に関する科目						
科目区分	教科	科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位	中／社会	高／地理歴史	高／公民	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	公 民	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲学概論Ⅰ	教職	3	2	※	※印を 1科目 2単位 以上 含む	地理歴史免許 この科目は使用 できません	※
			哲学概論Ⅱ	教職	3	2	※			※
			倫理学概論Ⅰ	教職	2	2	※			※
			倫理学概論Ⅱ	教職	2	2	※			※
			宗教学Ⅰ	教職	2	2	※			※
			宗教学Ⅱ	教職	2	2	※			※
			心理学概論Ⅰ	教育	1	2	—			※
			心理学概論Ⅱ	教育	1	2	—			※
中1／社会20以上	高1／地理歴史20以上 高1／公民20以上		計				中学1種免/ 28単位以上	高校1種免(地歴)/ 36単位以上	高校1種免(公民)/ 36単位以上	

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、—は使用できない科目)

●教科に関する科目（中・高）

○情報システム工学科（中/数学、高/数学）

（表Ⅰ-18）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定 免許法施行規則に 定める科目区分	本学の規定				教科別最低修得科目・単位数	
	教科に関する科目					
	科目名	時間割	履修年次	単位		
代数学	代数学概論	情報	3	2	◎	
	線型代数学Ⅰ	情報	1	2		
	論理と集合	情報	2	2		
	数学演習Ⅰ	情報	1	2		
幾何学	幾何学概論	情報	2	2	◎	
	線型代数学Ⅱ	情報	1	2		
	位相数学	情報	3	2		
	常微分方程式	情報	2	2		
解析学	微積分学Ⅰ	情報	1	2	◎	
	微積分学Ⅱ	情報	1	2		
	複素関数論	情報	2	2		
	数値解析	情報	2	2		
	人工知能	情報	3	2		
	数理計画法	情報	2	2		
	数学演習Ⅱ	情報	1	2		
「確率論、統計学」	確率統計	情報	2	2	◎	
	データ解析	情報	3	2		
コンピュータ	プログラミング演習Ⅰ	情報	1	2	◎	
	ソフトウェア演習A	情報	2	2		
	デジタル回路基礎論	情報	2	2		
	計算機アーキテクチャ	情報	2	2		
	情報システムモデリング	情報	3	2		
中1/数学20以上 高1/数学20以上	計				中学1種免/28単位以上 高校1種免/36単位以上	

（◎は教職必修科目）

●教科に関する科目（高校）

○情報システム工学科（高/情報）

（表Ⅰ-19）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定	本学の規定				教科別最低修得科目・単位数	
	教科に関する科目					
	免許法施行規則に定める科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位	
情報社会及び情報倫理	情報社会論	情報	1	2	◎	
	知的財産法概論	情報	3	2		
	情報システム総論	情報	1	2		
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	言語処理アルゴリズム	情報	2	2	◎	
	ソフトウェア工学	情報	3	2	◎	
	プログラミング演習Ⅱ	情報	1	4		
	ハードウェア基礎論	情報	2	2		
	制御工学	情報	2	2		
	情報計測工学	情報	2	2		
情報システム（実習を含む。）	オペレーティングシステム	情報	2	2	◎	
	データ構造	情報	2	2		
	意思決定支援システム論	情報	3	2		
	ソフトウェア演習C	情報	3	2		
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	コンピュータネットワーク論Ⅰ	情報	3	2	◎	
	ネットワーク実験	情報	3	2		
	ソフトウェア演習B	情報	2	2		
	コンピュータネットワーク論Ⅱ	情報	3	2		
	信号理論	情報	3	2		
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	マルチメディア演習	情報	3	2	◎	
	シミュレーション論	情報	3	2		
	マルチメディア論	情報	3	4		
情報と職業	情報と職業	教職	3～4	2	◎	
高1／情報20以上	計				高校1種免／36単位以上	

（◎は教職必修科目）

●教科に関する科目（中・高）

○生命情報工学科（中/理科、高/理科）

（表Ⅰ-20）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定 免許施行規則に 定める科目区分	本学の規定				教科別最低修得科目・単位数	
	教科に関する科目					
	科目名	時間割	履修年次	単位		
物理学	物理学序論：生命	生命	1	②	○	
	物理学概論Ⅰ	生命	1	②	○	
	物理化学Ⅰ	生命	2	2		
	物理化学Ⅱ	生命	3	2		
	物理学概論Ⅱ	生命	1	②	○	
	生物物理化学	生命	3	2		
物理学実験	物理化学実習	生命	2	②	○	
	物理学実習	生命	2	2	◎	
化学	化学序論：生命	生命	1	②	○	
	化学基礎論Ⅰ	生命	1	②	○	
	有機化学Ⅰ	生命	2	②	○	
	化学基礎論Ⅱ	生命	1	②	○	
	生化学Ⅰ	生命	2	②	○	
	分析化学：生命	生命	2	2	○	
	生化学Ⅱ	生命	3	②	○	
	有機化学Ⅱ	生命	2	2		
	酵素化学	生命	3	2		
	生物電気化学	生命	3	2		
	機器分析学	生命	3	2		
化学実験	化学実習	生命	1	②	○	
	生化学実習	生命	3	②	○	
	生体物質分析化学実習	生命	3	2		
生物学	生物学序論：生命	生命	1	②	○	
	生物学Ⅰ	生命	1	②	○	
	分子生物学Ⅰ	生命	1	②	○	
	生物学Ⅱ	生命	2	②	○	
	分子生物学Ⅱ	生命	1	②	○	
	微生物学	生命	1	2		
	細胞生物学	生命	2	2		
	分子細胞生物学Ⅰ	生命	3	2		
	神経情報科学	生命	3	2		
	分子細胞生物学Ⅱ	生命	3	2		
生物学実験	生物学実習	生命	1	②	○	
	微生物学実習	生命	2	②	○	
地学	地球科学概論：教職	教職	1	2	◎	
	地球化学	環境	3	2		
地学実験	地球環境科学実習	生命	3	2	◎	
中1／理科20以上 高1／理科20以上	計				中学1種免／28単位以上 高校1種免／36単位以上	

（○は必修科目、◎は教職必修科目、※は選択必修科目）

●教科に関する科目（中・高）

○環境共生工学科（中/理科、高/理科）

（表Ⅰ-21）

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定 免許施行規則に 定める科目区分	本学の規定				教科別最低修得科目・単位数	
	教科に関する科目					
	科目名	時間割	履修年次	単位		
物理学	物理学	環境	2	2	○	
	化学熱力学	環境	2	2		
	化学反応学	環境	2	2		
物理学実験	物理学実験：環境	環境	2	2	◎	
	物理化学実験	環境	2	2		
化学	化学基礎論	環境	1	②	○	
	基礎有機化学	環境	2	②		
	基礎無機化学	環境	2	②		
	生化学	環境	2	2		
	分析化学：環境	環境	2	2		
	環境科学	環境	3	2		
	有機化学	環境	3	2		
	環境分析化学	環境	3	2		
	反応工学	環境	3	2		
化学実験	化学実験	環境	1	②	○	
	環境分析化学実験	環境	2	②		
	材料科学実験	環境	3	2		
	環境化学工学実験	環境	3	2		
生物学	生物学	環境	1	②	○	
	基礎生態学	環境	1	②		
	環境微生物学	環境	2	2		
	生態科学	環境	2	2		
	発生生物学	環境	2	2		
	多様性生物学	環境	2	2		
	植物生理生態学	環境	2	2		
	分子生物学	環境	3	2		
	生態環境工学	環境	3	2		
内分泌攪乱科学	環境	3	2			
生物学実験	生物学実験	環境	1	②	○	
	微生物学実験	環境	2	2		
	生態環境工学実習	環境	3	2		
地学	地球科学概論	環境	1	②	○	
	地球化学	環境	3	2		
	土壌学	環境	3	2		
地学実験	地球科学実験	環境	3	2	◎	
中1/理科20以上 高1/理科20以上	計				中学1種免/28単位以上 高校1種免/36単位以上	

（○は必修科目、◎は教職必修科目、※は選択必修科目）

◆教職に関する科目 (小・幼)

○児童教育学科

(表 I - 22)

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定				大学の規定											
				最低取得単位数				児童教育学科の該当科目			最低取得単位数				
				小1	小2	幼1	幼2	科目名		単位	履修年次	小1	小2	幼1	幼2
第二欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2	2	2	教職概論：見教		2	1	2	2	2	2	
		教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)													
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	進路選択に資する各種の機会の提供等													
		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	4	6	4	初等教育原理Ⅰ		2	1	}2	}2	}2	}2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)					初等教育原理Ⅱ		2	1					
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育心理学						2	2	2	2	2	2			
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法					教育行財政学：見教		2	3	2	2	2	2	
		各教科の指導法	国語科教育	22	14			2	2	20	14				
			社会科教育			2	2								
			算数科教育			2	2								
			理科教育			2	2								
			生活科教育			2	1								
			音楽科教育 ※			2	2								
			図工科教育 ※			2	1								
		体育科教育 ※	2	1											
		家庭科教育	2	1											
		道徳の指導法					道徳教育論：見教		2	2	2	2	—	—	
		特別活動の指導法					特別活動		2	3	2	2	—	—	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)					教育方法論：見教		2	3	2	2	—	—	
保育内容の指導法	教育課程の意義及び編成の方法	18	12	保育内容総論Ⅰ		2	2								
	保育内容総論Ⅱ			2	2										
	保育内容A(健康)			2	2										
	保育内容B(人間関係)			2	2										
	保育内容C(環境)			2	2										
	保育内容D(言葉)			2	2										
保育内容E(音楽表現)	2	2													
保育内容F(造形表現)	2	2													
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)					保育方法論		2	2	—	—	2	2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	4			生徒・進路指導論：見教		2	2	2	2	—	—		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					教育カウンセリング：見教		2	2	2	2	—	—		
	進路指導の理論及び方法														
	幼児理解の理論及び方法					2		2		2		—		2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法														
第五欄	教育実習	5	5	5	5	教育実習(幼・小)		5	3・4	5	5	5	5		
第六欄	教職実践演習	2	2	2	2	教職実践演習：見教		2	4	2	2	2	2		

- ◎ここに記載の科目はすべて児童教育学科の時間割にあります。
- ◎教育実習の履修登録は、実習年度の「授業時間割」を参照してください。
- ◎幼稚園1種免許取得に必要な「保育内容の指導法」は小学校1種免許と幼稚園1種免許を同時に取得する場合、3科目6単位の取得でよい。ただしこの場合、小学校免許が取得できなくなった場合には6科目12単位の取得が必要となるので注意してください。
- ◎教職実践演習を履修するには、3年次後期に登録が必要です。

●教科に関する科目（小・幼）

○児童教育学科

(表I-23)

◆2014年度以降入学生に適用

免許法上の規定		本学の規定					教科別最低修得科目・単位数																
教科に関する科目	最低修得単位数		教科に関する科目																				
	小	幼	科目名	時間割	履修年次	単位	小/1種	小/2種	幼/1種	幼/2種													
国語 (書写を含む。)	全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	日本語論	児教	1	2	※	1科目 2単位 以上	※	※	※	※											
			文学を読む	児教	2	2	※		※	※	※												
			子供と文学	児教	1	2	※		※	※	※												
			書写	児教	2	2	※		※	※	※												
社会			全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	社会科概説	児教	1	2	※	1科目 2単位 以上	※	—	—	※印から1教科2単位以上									
					政治経済学概論	児教	3	2	※		※	—	—	※印から2教科4単位以上									
					地理学概説	児教	2	2	※		※	—	—	※									
					歴史学概論	児教	2	2	※		※	—	—	※									
算数					全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	数の概念	児教	1	2	※	1科目 2単位 以上	※	※	※	※							
							図形	児教	1	2	※		※	※	※								
							数量関係	児教	2	2	※		※	※	※								
							確率と統計	児教	2	2	※		※	※	※								
理科							全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	生物の世界	児教	1	2	※	1科目 2単位 以上	※	—	—	※					
									環境科学	児教	3	2	※		※	—	—	※					
									地球の生態系	児教	2	2	※		※	—	—	※					
									エネルギー科学基礎	児教	1	2	※		※	—	—	※					
生活									全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	理科実習	児教	2	2	※								
											生活科学	児教	2	2				※		※			
											音楽	全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	音楽入門	児教	1	1	※	2単位 以上	※	※	※	※
														音楽概論	児教	1	2	※		※	※	※	※
ピアノ入門	児教	2												1	※	※	※	※		※			
音楽基礎演習(ピアノ)	児教	2												1	※	※	※	※		※			
音楽実技表現	児教	1												1	※	※	※	※		※			
音楽演習	児教	2												1	※	※	※	※		※			
図画工作	全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	リトミック	児教							2			1	※		※	※	※	※			
			美術の基本	児教							1			2	※	1科目 2単位 以上	※	※	※	※			
			立体表現基礎	児教							1			2	※		※	※	※	※			
			平面表現基礎	児教							1			2	※		※	※	※	※			
表現と鑑賞			児教	1	2	※					※			※	※		※						
家庭			全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)	家庭科学	児教					2			2			※	—	—				
					体育概論	児教					1			2	※		※	※	※	※			
体育					全教科のうち1教科以上8単位以上(小2種は4単位以上)	6教科(国語・算数・生活・音楽・図画工作・体育)のうち1教科以上6単位以上(幼は2種は4単位以上)					自然体験			児教	1	1	※	2単位 以上	※	※	※	※	
							器械・陸上運動	児教			1			1	※	※	※		※	※			
							表現運動	児教			2			2	※	※	※		※	※			
							体づくり運動	児教			1			1	※	※	※		※	※			
							ボール・ゲーム	児教			2			1	※	※	※		※	※			
計									計						18単位以上	6単位以上	16単位以上	4単位以上					

(◎は教職必修科目、※は選択必修科目、—は使用できない科目)

★教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	科目名	時間割	履修年次	単位	小/1種	小/2種
教科又は教職に関する科目	小学校の英語教育	児教	3	2	◎	

★大学院専修免許状（教科又は教職に関する科目）

◆2014年度以降入学生に適用

*専修免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」

本学の大学院に在籍をしており、すでに教員1種免許状をお持ちの方は、各研究科において指定された科目のうち24単位を修得すれば専修免許状を取得することができます（専修免許状の発行は各都道府県の教育委員会）。なお、研究科ごとに取得できる専修免許状は決まっています（P.5を参照）のでご注意ください。

専修免許状取得希望者は履修前に必ず教育学部棟1階の教職キャリアセンターまでおこしてください。

※取得済みの1種免許状が、教育職員免許法5条別表第一により取得した免許状に限ります（6条別表第三、第四、第八で1種免許状を取得している場合は、教職キャリアセンターまでご相談ください）。

例) 経済学研究科経済学専攻で取得できる専修免許状

中学校教諭（社会）専修免許状

高等学校教諭（地理歴史）専修免許状

高等学校教諭（公民）専修免許状

高等学校教諭（商業）専修免許状

※取得しようとする学校種・教科の1種免許状をすでに取得していることが条件となります。

※他の研究科・専攻で取得できる専修免許（例えば文学研究科の小学校専修免許など）は取得できません。

大学院生の特別履修制度について

大学在学時に1種免許状を取得しないで大学院に進学した場合でも、専修免許状を取得することが出来ます。その場合、1種免許状に係る科目（学部の開講科目）を特別履修生として修得する必要があります。

この特別履修制度は無料です。この制度を利用する場合は登録が必要です。登録期間等の詳細は中央教育棟教務課大学院係にご確認ください。

なお、学部在学時に本学教職課程に登録をしていない場合は、別途「教職課程登録費」が必要となります（中・高50,000円、幼・小50,000円、高のみ40,000円）。また、取得できる1種免許状は研究科により決まっています。詳しくは教育学部棟1階の教職キャリアセンターまでお問い合わせください。

●経済学研究科
中学校専修免許状（社会）

社会の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
金融経済論特論Ⅰ	2		比較経済史特論Ⅰ	2	
金融経済論特論Ⅱ	2		比較経済史特論Ⅱ	2	
マクロ経済学特論	4		西洋経済史特論Ⅰ	2	
ミクロ経済学特論	4		西洋経済史特論Ⅱ	2	
生活経済学特論Ⅰ	2		史料講読Ⅰ	2	
生活経済学特論Ⅱ	2		史料講読Ⅱ	2	
時系列分析特論Ⅰ	2		開発経済学特論Ⅰ	2	
時系列分析特論Ⅱ	2		開発経済学特論Ⅱ	2	
計量経済学特論	4		アフリカ経済論Ⅰ	2	
ファイナンス理論特論Ⅰ	2		アフリカ経済論Ⅱ	2	
ファイナンス理論特論Ⅱ	2		アジア経済論Ⅰ	2	
計量ファイナンス特論Ⅰ	2		アジア経済論Ⅱ	2	
計量ファイナンス特論Ⅱ	2		国際貿易論特論Ⅰ	2	
経済史概論	4		国際貿易論特論Ⅱ	2	
グローバル経済概論	4		財政学特論Ⅰ	2	
日本経済史特論Ⅰ	2		財政学特論Ⅱ	2	
日本経済史特論Ⅱ	2		日本経済論特論Ⅰ	2	
近代日本経済史特論Ⅰ	2		日本経済論特論Ⅱ	2	
近代日本経済史特論Ⅱ	2				

●経済学研究科
高等学校専修免許状（地理歴史）

地理歴史の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
日本経済史特論Ⅰ	2		西洋経済史特論Ⅰ	2	
日本経済史特論Ⅱ	2		西洋経済史特論Ⅱ	2	
近代日本経済史特論Ⅰ	2		経済史概論	4	
近代日本経済史特論Ⅱ	2		史料講読Ⅰ	2	
比較経済史特論Ⅰ	2		史料講読Ⅱ	2	
比較経済史特論Ⅱ	2				

●経済学研究科
高等学校専修免許状（公民）

公民の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
金融経済論特論Ⅰ	2		グローバル経済概論	4	
金融経済論特論Ⅱ	2		開発経済学特論Ⅰ	2	
マクロ経済学特論	4		開発経済学特論Ⅱ	2	
ミクロ経済学特論	4		アフリカ経済論Ⅰ	2	
生活経済学特論Ⅰ	2		アフリカ経済論Ⅱ	2	
生活経済学特論Ⅱ	2		アジア経済論Ⅰ	2	
時系列分析特論Ⅰ	2		アジア経済論Ⅱ	2	
時系列分析特論Ⅱ	2		国際貿易論特論Ⅰ	2	
計量経済学特論	4		国際貿易論特論Ⅱ	2	
ファイナンス理論特論Ⅰ	2		財政学特論Ⅰ	2	
ファイナンス理論特論Ⅱ	2		財政学特論Ⅱ	2	
計量ファイナンス特論Ⅰ	2		日本経済論特論Ⅰ	2	
計量ファイナンス特論Ⅱ	2		日本経済論特論Ⅱ	2	

●経済学研究科
高等学校専修免許状（商業）

商業の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単位	備 考	科 目 名	単位	備 考
経営戦略論特論Ⅰ	2		経営学概論Ⅰ	2	
経営戦略論特論Ⅱ	2		経営学概論Ⅱ	2	
国際経営戦略論特論Ⅰ	2		情報統計概論Ⅱ	2	
国際経営戦略論特論Ⅱ	2		財務管理論特論Ⅰ	2	
人的資源管理論特論Ⅰ	2		財務管理論特論Ⅱ	2	
人的資源管理論特論Ⅱ	2		ビジネス・エコノミクス特論Ⅰ	2	
経営史概論Ⅰ	2		ビジネス・エコノミクス特論Ⅱ	2	
経営史概論Ⅱ	2		財務会計特論Ⅰ	2	
会計学概論Ⅰ	2		財務会計特論Ⅱ	2	
会計学概論Ⅱ	2		管理会計特論Ⅰ	2	
経営統計概論Ⅰ	2		管理会計特論Ⅱ	2	
経営統計概論Ⅱ	2				

●法律学研究科
中学校専修免許状（社会）・高等学校専修免許状（公民）

社会・公民の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単位	備 考	科 目 名	単位	備 考
憲法特論	2		国際私法特論	2	
憲法人権論特論	2		英米法特論	2	
比較憲法特論	2		環境法特論	2	
行政法特論	2		社会法特論	2	
民事法特論	2		労働法特論	2	
担保法特論	2		税法特論	2	
不動産法特論	2		法人税法特論	2	
金融法特論	2		租税手続法特論	2	
知的財産法特論	2		租税争訟法特論	2	
企業法特論	2		法社会学特論	2	
保険法特論	2		法史学特論	2	
刑事法特論	2		政治学史特論	2	
刑事訴訟法特論	2		政治史特論	2	
物権法特論	2		近代政治学史特論	2	
民事訴訟法特論	2		政治学特論	2	
国際法総論特論	2		西洋政治史特論	2	
国際法各論特論	2				

●文学研究科 英文学専攻
中学校専修免許状（英語）・高等学校専修免許状（英語）

英語の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単位	備 考	科 目 名	単位	備 考
イギリス文学特論Ⅰ	2		アメリカ文学特論BⅡ	2	
イギリス文学特論Ⅱ	2		アメリカ文学特論CⅠ	2	
英米文学研究法	2		アメリカ文学特論CⅡ	2	
英語学研究法	2		アメリカ文学特論DⅠ	2	
Academic WritingⅠ	2		アメリカ文学特論DⅡ	2	
Academic WritingⅡ	2		英語学・英語教育学特論BⅠ	2	
アメリカ文学特論AⅠ	2		英語学・英語教育学特論BⅡ	2	
アメリカ文学特論AⅡ	2		英語学・英語教育学特論CⅠ	2	
アメリカ文学特論BⅠ	2		英語学・英語教育学特論CⅡ	2	

●文学研究科 社会学専攻
中学校専修免許状（社会）・高等学校専修免許状（公民）

社会・公民の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単 位	備 考	科 目 名	単 位	備 考
社会学基礎論	2		マス・コミュニケーション論特論Ⅱ	2	
社会学研究法	2		メディア社会論特論Ⅰ	2	
グローバル・スタディーズ基礎論	2		メディア社会論特論Ⅱ	2	
グローバル・スタディーズ研究法	2		中国社会研究Ⅰ	2	
理論社会学特論Ⅰ	2		中国社会研究Ⅱ	2	
理論社会学特論Ⅱ	2		中国文化研究Ⅰ	2	
都市社会学特論Ⅰ	2		中国文化研究Ⅱ	2	
都市社会学特論Ⅱ	2		国際社会論特論Ⅰ	2	
アジア社会研究Ⅰ	2		国際社会論特論Ⅱ	2	
アジア社会研究Ⅱ	2		比較文化特論Ⅰ	2	
宗教社会学特論Ⅰ	2		比較文化特論Ⅱ	2	
宗教社会学特論Ⅱ	2		ロシア・ユーラシア文化研究Ⅰ	2	
産業社会学特論Ⅰ	2		ロシア・ユーラシア文化研究Ⅱ	2	
産業社会学特論Ⅱ	2		ロシア・ユーラシア社会研究Ⅰ	2	
社会福祉論特論Ⅰ	2		ロシア・ユーラシア社会研究Ⅱ	2	
社会福祉論特論Ⅱ	2		歴史社会学特論Ⅰ	2	
マス・コミュニケーション論特論Ⅰ	2		歴史社会学特論Ⅱ	2	

●文学研究科 人文学専攻
中学校専修免許状（社会）

社会の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単 位	備 考	科 目 名	単 位	備 考
哲学研究法	2		哲学史特論Ⅱ	2	
歴史学研究法	2		東アジア仏教思想特論Ⅰ	2	
科学哲学特論Ⅰ	2		東アジア仏教思想特論Ⅱ	2	
科学哲学特論Ⅱ	2		インド仏教思想特論Ⅰ	2	
人文学演習Ⅰa	2		インド仏教思想特論Ⅱ	2	
人文学演習Ⅰb	2		日本近代史特論Ⅰ	2	
人文学演習Ⅱa	2		日本近代史特論Ⅱ	2	
人文学演習Ⅱb	2		日本中世史特論Ⅰ	2	
人文学演習Ⅲa	2		日本中世史特論Ⅱ	2	
人文学演習Ⅲb	2		東洋古代史特論Ⅰ	2	
人文学演習Ⅳa	2		東洋古代史特論Ⅱ	2	
人文学演習Ⅳb	2		西洋近世史特論Ⅰ	2	
西洋哲学特論Ⅰ	2		西洋近世史特論Ⅱ	2	
西洋哲学特論Ⅱ	2		西洋近代史特論Ⅰ	2	
哲学史特論Ⅰ	2		西洋近代史特論Ⅱ	2	

●文学研究科 人文学専攻
高等学校専修免許状（地理歴史）

地理歴史の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単 位	備 考	科 目 名	単 位	備 考
歴史学研究法	2		日本中世史特論Ⅱ	2	
東アジア仏教思想特論Ⅰ	2		東洋古代史特論Ⅰ	2	
東アジア仏教思想特論Ⅱ	2		東洋古代史特論Ⅱ	2	
インド仏教思想特論Ⅰ	2		西洋近世史特論Ⅰ	2	
インド仏教思想特論Ⅱ	2		西洋近世史特論Ⅱ	2	
日本近代史特論Ⅰ	2		西洋近代史特論Ⅰ	2	
日本近代史特論Ⅱ	2		西洋近代史特論Ⅱ	2	
日本中世史特論Ⅰ	2				

●文学研究科 人文学専攻
高等学校専修免許状（公民）

公民の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
哲学研究法	2		人文学演習Ⅲb	2	
科学哲学特論Ⅰ	2		人文学演習Ⅳa	2	
科学哲学特論Ⅱ	2		人文学演習Ⅳb	2	
人文学演習Ⅰa	2		西洋哲学特論Ⅰ	2	
人文学演習Ⅰb	2		西洋哲学特論Ⅱ	2	
人文学演習Ⅱa	2		哲学史特論Ⅰ	2	
人文学演習Ⅱb	2		哲学史特論Ⅱ	2	
人文学演習Ⅲa	2				

●文学研究科 教育学専攻
中学校専修免許状（社会）・高等学校専修免許状（公民）

社会・公民の教職に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
教育学研究法	2		教育学演習Ⅳb	2	
教育学原典講読	2		教育学特論BⅠ「教育行政学特論Ⅰ」	2	
教育学演習Ⅰa	2		教育学特論BⅡ「教育行政学特論Ⅱ」	2	
教育学演習Ⅰb	2		教育学特論CⅠ比較国際教育学特論Ⅰ	2	
教育学演習Ⅱa	2		教育学特論CⅡ比較国際教育学特論Ⅱ	2	
教育学演習Ⅱb	2		教育学特論DⅠ「学級経営学特論Ⅰ」	2	
教育学演習Ⅲa	2		教育学特論DⅡ「学級経営学特論Ⅱ」	2	
教育学演習Ⅲb	2		教育心理学特論AⅠ「学校心理学特論Ⅰ」	2	
教育学演習Ⅳa	2		教育心理学特論AⅡ「学校心理学特論Ⅱ」	2	

●文学研究科 教育学専攻
小学校専修免許状

小学校の教職に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
教育学特論AⅠ「国語教育論Ⅰ」	2		教育学特論EⅠ「教育工学論Ⅰ」	2	
教育学特論AⅡ「国語教育論Ⅱ」	2		教育学特論EⅡ「教育工学論Ⅱ」	2	
教育学演習Ⅰa	2		教育学特論FⅠ「教育方法論Ⅰ」	2	
教育学演習Ⅰb	2		教育学特論FⅡ「教育方法論Ⅱ」	2	
教育学演習Ⅱa	2		教育学特論GⅠ「算数教育論Ⅰ」	2	
教育学演習Ⅱb	2		教育学特論GⅡ「算数教育論Ⅱ」	2	
教育学演習Ⅲa	2		教育心理学特論BⅠ	2	
教育学演習Ⅲb	2		教育心理学特論BⅡ	2	

●文学研究科 国際言語教育専攻
 中学校専修免許状（国語）・高等学校専修免許状（国語）

国語の教科に関する科目・教職に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
日本語教育研究法Ⅰ	2		日本語学演習Ⅱ	2	
日本語教育研究法Ⅱ	2		日本語学演習Ⅲ	2	
言語教育政策研究	2		日本語学演習Ⅳ	2	
日本語教材研究Ⅰ	2		国語教育学演習Ⅰ	2	
日本語教材研究Ⅱ	2		国語教育学演習Ⅱ	2	
日本語語彙表現研究Ⅰ	2		国語教育学演習Ⅲ	2	
日本語語彙表現研究Ⅱ	2		国語教育学演習Ⅳ	2	
現代日本文学研究Ⅰ	2		文章表現指導法実践演習	2	
現代日本文学研究Ⅱ	2		読解指導法実践演習	2	
日本語教育学演習Ⅰ	2		日本語教授法実践演習Ⅰ	3	
日本語教育学演習Ⅱ	2		日本語教授法実践演習Ⅱ	3	
日本語教育学演習Ⅲ	2		日本語教授法実践演習Ⅲ	3	
日本語教育学演習Ⅳ	2		日本語教授法Ⅰ	2	
日本語学演習Ⅰ	2		日本語教授法Ⅱ	2	

●文学研究科 国際言語教育専攻
 中学校専修免許状（英語）・高等学校専修免許状（英語）

英語の教科に関する科目・教職に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
第二言語習得理論Ⅰ	2		大学院生のためのライティングスキル	2	
第二言語習得理論Ⅱ	2		英語教育実践演習Ⅰ	2	
第二言語教育の研究方法	2		英語教育実践演習Ⅱ	2	
社会言語学と教育	2		社会科学における研究プロポーザル	2	
外国語としての英語教育における言語と文化	2		英語教育研究演習	2	
学術・専門分野のための英語	2		英語指導法教材開発演習	2	
言語教育のための英文法	2		第二言語教授法Ⅰ	2	
テクノロジーと第二言語教育	2		第二言語教授法Ⅱ	2	
言語テストと評価	2		シラバス・カリキュラム作成	2	
言語教育のための発音	2				

●工学研究科 情報システム工学専攻
 中学校専修免許状（数学）・高等学校専修免許状（数学）

数学の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
アルゴリズムの設計と解析Ⅰ	2		応用多変量解析Ⅰ	2	
アルゴリズムの設計と解析Ⅱ	2		応用多変量解析Ⅱ	2	
コンピュータ数理モデルⅠ	2		情報数理科学Ⅰ	2	
コンピュータ数理モデルⅡ	2		情報数理科学Ⅱ	2	
知能システム基礎論Ⅰ	2		情報数理科学Ⅲ	2	
知能システム基礎論Ⅱ	2		情報数理科学Ⅳ	2	
システム制御論	2		情報システム特別演習（数理）	4	
非線形システム論	2		特別研究（数理）	10	

●工学研究科 情報システム工学専攻
高等学校専修免許状（情報）

情報の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
先端ネットワーク工学論Ⅰ	2		画像情報処理論	2	
先端ネットワーク工学論Ⅱ	2		デジタル信号解析論	2	
ソフトウェア工学論	2		デジタルシステム設計論	2	
情報通信サービスソフトウェア論	2		リアルタイムOS論	2	
光電子工学	2		コンピュータグラフィックス論	2	
計測システム論	2		情報システム特別演習（情報）	4	
ロボット工学	2		特別研究（情報）	10	
可視化情報学	2				

●工学研究科 生命情報工学専攻
中学校専修免許状（理科）・高等学校専修免許状（理科）

理科の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
機器分析特論	2		生物情報計測工学	2	
生体高分子特論	2		脳神経科学	2	
バイオナノテクノロジー	2		ニューログリア概説	2	
糖鎖生物学	2		バイオインフォマティクス特論	2	
代謝分子生物学	2		神経病理学概論	2	
ウイルス学	2		発達と学習の神経生物学	2	
生物電子工学特論	2		生命情報工学特別演習	8	

●工学研究科 環境共生工学専攻
中学校専修免許状（理科）・高等学校専修免許状（理科）

理科の教科に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科目名	単位	備考	科目名	単位	備考
地球化学	2		環境毒性学	2	
生物地球化学	2		生理活性物質科学	2	
環境土壌学	2		環境プロセス工学	2	
機器分析Ⅰ	2		環境材料科学	2	
機器分析Ⅱ	2		グリーンケミストリー	2	
生態学研究法	2		資源エネルギー工学	2	
微生物生態学	2		環境工学と社会	2	
修復生態学	2		技術支援工学	2	
環境生物学	2		環境共生工学特別演習	4	
物性化学	2		環境共生工学特別実験	10	

●教職研究科 教職専攻
小学校専修免許状

教職に関する科目（下記の科目の中から24単位以上）					
科 目 名	単 位	備 考	科 目 名	単 位	備 考
学習指導要領と教科カリキュラムのデザイン	2		教員の服務等と教育法規	2	
個に応じた指導のデザイン	2		人間的成長に関する理論と実践	2	
学校カリキュラムと教育研究推進の組織化	2		教育実践研究方法	2	
教科等の指導開発研究AⅠ（国語、社会）	2		学習指導の方法研究Ⅰ	2	
教科等の指導開発研究AⅡ（国語、社会）	2		学習指導の方法研究Ⅱ	2	
教科等の指導開発研究BⅠ（算数・理科）	2		学習活動の組織化とその評価	2	
教科等の指導開発研究BⅡ（算数・理科）	2		授業力育成のための理論と方法	2	
教科等の指導開発研究C（図工・体育）	2		学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進Ⅰ	2	
教科等の指導開発研究D（生活・総合的学習・道徳）	2		学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進Ⅱ	2	
教科等の指導開発研究E（外国語活動）	2		総合学習と社会参加学習論	2	
特別活動と生徒指導	2		人間教育実践分析研究	2	
学校カウンセリングの現状と課題	2		人間教育実践分析課題研究	2	
特別支援教育の現状と課題	2		人間教育事例分析研究	2	
子どもの人権を保障する学校文化の形成	2		人間教育事例分析課題研究	2	
教育行政・学校経営の現状と課題	2		教職課題研究Ⅰ	2	
学級のデザインと子ども同士の関係づくり	2		教職課題研究Ⅱ	2	
教員研修実務研究	2		教育課題実地研究（国内）	2	
生涯学習・国際化・情報化社会における学校と教員の役割	2		教育課題実地研究（国外）	2	
子ども理解・保護者理解	2				

2. 教育実習について

(1) 教育実習とは

教育実習は、教員免許法施行規則第6条の規定にもとづき、大学で学んだ理論・実技を学校教育の現場において、実際に経験することにより、教員となるための実技上、研究上の基礎的な能力と態度を養うことを目的として実施する必修科目です。

教員免許状を取得するための教育実習は5単位ですが、そのうち1単位を教育実習事前（事後）講義で、あとの4単位は、学校現場での実習となります。現場実習は、1週間を1単位とするので、4単位4週間の教育実習期間を必要とします。

また、高等学校の免許状のみを取得する場合は教育実習は3単位ですが、現場における実習は、2単位2週間の期間を必要とします。

(2) 教育実習履修資格

教育実習は、あくまでも、将来教員を目指す人のために、実習校と所轄教育委員会の教育的配慮・好意によって受け入れていただくものです。また、教育実習は、実際の教育現場に参加する実習生として、責任ある立場で臨むものですから、この履修資格については、厳しい条件が要求されることとなります。したがって以下の事項が教育実習受講の許可条件となります。

1. 教育実習該当者資格

- ① 教職に就く意志があり教員として就職可能な者。
- ② 性行上、教育職員として、適格と認められた者。
- ③ 教育実習に関するガイダンス・書類提出等をすべて行い、本学の指導に従うこと。

2. 教育実習前年度までに下記の単位を修得していること。

	3年次で教育実習を希望する者	4年次で教育実習を希望する者
卒業単位	卒業単位60単位以上	卒業単位80単位以上
基礎資格	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本国憲法」：2単位 ・体育実技Ⅰ・Ⅱから1単位以上 ・体育講義Ⅰ・Ⅱから2単位以上 ・EnglishⅠ ・EnglishⅡ ・EnglishⅢ ・EnglishⅣ } から2単位以上 ・「コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ」から2単位以上*1	
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職概論：児教」：2単位 ・「初等教育原理Ⅰ・Ⅱ」：2単位以上 ・「教育心理学」：2単位 ・「各教科の指導法」：6科目12単位 ・「道徳教育論：児教」「生徒・進路指導論：児教」：2科目のうち1科目2単位以上 	
中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職概論：教職」：2単位（教育学科のみ「教職概論：教育」：2単位） ・「教育原論」：2単位（教育学科のみ「教育学概論Ⅰ・Ⅱ」：2単位以上） ・「教育心理」：2単位（教育学科のみ「教育心理学Ⅰ・Ⅱ：教育」：3単位以上） ・「生徒・進路指導論：教職」（教育学科のみ「生徒・進路指導論：教育」）、「道徳教育論」「特別活動」：3科目のうち1科目2単位以上 ・「各教科の指導法」（教育実習を行う当該科目）：2単位以上 	

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職概論：児教」：2単位 ・「初等教育原理Ⅰ・Ⅱ」：2単位以上 ・「教育心理学」：2単位 ・「保育内容総論Ⅰ・Ⅱ」：各2単位※2 ・「保育内容の指導法」：3科目6単位※3 ・「幼児理解と教育相談」：2単位
-----	---

- ※1 工学部生命情報工学科は「プログラミング演習Ⅰ」を、情報システム工学科は「情報システム総論」をもって充てることができる。
- ※2 幼稚園で3年次に教育実習を希望する者については、2年次前期に「保育内容総論Ⅰ」、2年次後期に「保育内容総論Ⅱ」を必ず修得すること。
- ※3 幼稚園の「保育内容の指導法」については、幼・小の教員免許状を同時に取得する場合にのみ、小学校の「各教科の指導法」を半数まで充てることができる。なお、3年次で教育実習を希望する場合は、2年次前期までに3科目6単位を修得すること。

3. 「介護等体験」を終了していること。

3年次終了までに、「介護等体験」を終了しておいて下さい。

※終了していない場合、教職キャリアセンターに相談して下さい。

4. 教育実習事前講義を教育実習前年度に受講していること。

5. 教育実習登録の前年度後期までの通算GAPが3.0以上あること。

※ガイダンス・事前講義に1度でも、欠席、遅刻、早退した場合は教育実習を実施できません。(公欠に該当する場合を除く)

※中国語・ロシア語免許取得希望の学生については、中国語・ロシア語での教育実習校確保が困難な状況にあるため、中国語免許取得希望の学生については、「国語」で、ロシア語免許取得希望の学生については、「英語」での教育実習を認めます。但し、**教育実習の前年度までにそれぞれ、「国語科教育法」「英語科教育法」を2単位以上修得しておいて下さい。**

※地域によっては、その所轄行政区で教員採用試験を受けた者、あるいは、当該年度に受験予定のものでないと教育実習が許可されない場合があります。また、指定校制度をとっている地域もあり、大学の履修基準とは別に審査がある地域もあります。

(3) 実習校の種類

実習校は、①地方委託校・指定校 ②東京都公立校の2種に区分されます。

①地方委託校・指定校

本人の出身校(園)、または最寄の学校(園)、縁故のある学校(園)で、行う実習をいいます。この実習校の開拓は、各自が個々に交渉して確保しなければなりません。早い時期に受け入れ状況を把握して実習校(園)の確保につとめてください。

個人の交渉による実習校の確保を禁止している地域では、指定校制をとっています。京都市、名古屋市、神戸市、尼崎市、北九州市等が同様の制度をとっています。(詳しくはガイダンスで説明します)

②東京都公立校

東京都公立校の場合は、教育実習の前年度の10月に大学が一括して東京都教育委員会に申請をし、審査のうえ、実習校が指定されます。

したがって、東京都公立校出身者は、大学と連携をとりながら実習校の確保を進めていくこととなります。

※創価学園出身者は基本的にご実家のある地域もしくは、東京都で実習をおこなうようになります。

(4) 教育実習の手続きについて（予定）

年 度	月	内 容
実習前年度	4月	教育実習登録ガイダンス（教育実習の登録）
	5月	教育実習内諾依頼ガイダンス
	9月	教育実習事前講義（予定）
	11月～12月	教育実習正式依頼ガイダンス
	12月	教育実習事前講義（予定）
	1月	教育実習実施ガイダンス
	2月・3月	教育実習事前講義（予定）
実習年度	4月	教育実習許可者発表
	4月～5月	教育実習直前ガイダンス
	5月～12月	教育実習
		（教育実習事後指導）

(5) 教育実習の履修について

- ①ガイダンスは、教育実習の履修条件ですので必ず出席してください。出席しない場合は教育実習を履修することはできません。
- ②4月に配布する履修ガイドを参照し、実習年度の前期又は後期に「教育実習」を忘れず履修登録して下さい。

3. 教員免許状の申請について

教員免許状は、教育職員免許法第5条第2項により、各都道府県教育委員会が授与するものです。したがって教員免許法に定める単位を修得した者は、原則的には個人が居住する都道府県教育委員会に免許状授与の申請をすることによって教員免許状を取得することができます。これを**個人申請**といいます。

学生の便宜を図るために、大学が一括して東京都教育委員会に免許申請する場合を一括申請といいます。

一括申請の場合は、3月31日付けの教員免許状を卒業式に授与いたしますが、個人申請の場合は、手続きの上から免許状発行は4月1日以降となります。

したがって、なるべく一括申請の手続きをするようにしてください。但し、9月卒業の場合は一括申請ができませんので、卒業後、個人申請を行ってください。

一括申請の手続きは卒業年度の7月の教員免許状申請ガイダンスから手続きが始まりますので必ず出席してください。

●教員免許状授与に関する規定

教育職員免許法第5条別表第1項のうち、第3号から第6号までの規定に該当する者には教員免許状は、授与されません。

3号 禁治産者および準禁治産者。

4号 禁固以上の刑に処せられた者。

5号 免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者。

6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を形成し、又はこれに加入した者。

(1) 一括申請

1. 一括申請の要件

- ① 3月卒業見込みの者（在学中での免許状申請はできません。）
- ② 教育職員免許法第5条別表第1の方法で単位を修得したもの。
- ③ 教員免許状申請に必要な全ての単位を修得している（見込み）こと。
- ④ 教育実習を実務経験で振り替えない者。

2. 一括申請の手続き

7月	教員免許状申請ガイダンス
9月	教員免許状一括申請（大学→都教育委員会）
12月	「教員免許状授与願」確認及び教員免許状申し込み（申請手数料納付）
2月	一括申請書類審査（大学→都教育委員会）
3月	卒業式で教員免許状授与（都教委→大学→学生）

※申請手数料1免許 3,500円

(2) 個人申請

一括申請の①～④の要件に該当しない場合には、各自が直接、居住する各都道府県教育委員会に個人申請することになります。教育委員会によっては、手続き書類の様式が異なりますから、申請する教育委員会に指導を受けてから手続きを行うようにしてください。

なお、1月～3月中は、個人申請を受け付けない教育委員会もあります。また教員免許状申請用の単位修得証明等は卒業式以降しか発行できませんので十分に注意してください。

個人申請の場合は、3月31日付の免許状の発行は困難で4月あるいは5月に発行となる場合があります。

Ⅱ 社会教育主事課程編

1. 社会教育主事について

社会教育主事は青年教育、婦人教育、成人教育などの社会教育活動について、指導・助言を行う教育専門職員です。その身分は教育公務員であり、教育委員会によって任命されます。現在、社会教育法（昭和24年公布）により、「都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に、社会教育主事を置く」（同法第9条の2）ことになっています。また、社会教育主事の資格を有する者が、公民館、青年の家などの社会教育施設の職員として、専門的な活動を行うことも少なくありません。

社会教育主事になるためには、いくつかの基礎資格が必要です。本学の社会教育主事課程は、「大学に2年以上在学して、62単位以上を修得し、且つ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補の職にあった者とする社会教育法（第9条の4第3号）の規定が該当します。換言すれば、学士の学位をもち、大学において文部科学省令で定めた「社会教育に関する科目の単位」を修得している者は、社会教育主事補の職について1年以上たてば、社会教育主事になる資格ができるわけです。したがって、大学在学中に、そのような科目の単位を修得しておくことは、将来、社会教育の方面に進んでいく場合、きわめて有利な条件をもっていることとなります。

2. 社会教育主事課程の内容

本学の社会教育主事課程は、文部科学省令による「社会教育に関する科目の単位」を修得できるように次の表「4. 社会教育主事課程科目一覧」のとおり開設しています。

必修、選択必修、選択科目があり、それぞれ資格取得のために最低修得科目・単位数が定められています。表にしたがって、まちがいのないように履修してください。

3. 受講手続き

社会教育主事課程の履修希望者は、1年次以降、各 Semester 毎に実施される「**社会教育主事課程ガイダンス**」に出席し、所定の課程費（15,000円）を納入することにより受講することができます。

本課程を修了した者には、卒業式当日に修了証を授与します。

4. 社会教育主事課程科目一覧

○経済、法、経営、工学部

(表Ⅱ-1)

◆2014年度以降入学生に適用

法規上の科目		必修 単位	本学該当科目	時間 割	履修 年次	単位 数	最低修得科目単位数
生涯学習概論	4単位 必修	生涯学習概論	特設	1	2	2科目4単位必修	
		社会教育概論	特設	1	2		
社会教育計画	4単位 必修	社会教育計画Ⅰ	特設	2	2	2科目4単位必修	
		社会教育計画Ⅱ	特設	2	2		
社会教育演習	選 4 単 位 必 修	社会教育演習	特設	3	4	4単位以上 選択必修	
社会教育実習		社会教育課題研究Ⅰ	特設	3	2		
社会教育課題研究		社会教育課題研究Ⅱ	特設	3	2		
社 会 教 育 特 講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12 単 位 以 上 選 択	社会教育特講A	特設	2	2	特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから それぞれ1科目以上 選択 (計)12単位以上
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育特講B	特設	3	2	
			博物館学総論：特設	特設	1	2	
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		視聴覚教育	特設	2	2	
			教育心理	教職	1	2	
			教育社会学	特設	2	2	
			発達心理学	特設	3	2	
			体育及びレクリエーション指導	特設	2	2	
			児童福祉論	特設	3	2	
	教育原論		特設	1	2		
メディア産業の社会学Ⅰ	特設	2	2				
メディアと社会心理Ⅱ	特設	2	2				

○文学部

(表Ⅱ-2)

◆2014年度以降入学生に適用

法規上の科目		必修 単位	本学該当科目	時間 割	履修 年次	単位 数	最低修得科目単位数
生涯学習概論		4単位 必修	生涯学習概論	特設	1	2	2科目4単位必修
			社会教育概論	特設	1	2	
社会教育計画		4単位 必修	社会教育計画Ⅰ	特設	2	2	2科目4単位必修
			社会教育計画Ⅱ	特設	2	2	
社会教育演習		選4 択4 必修 単位	社会教育演習	特設	3	4	4単位以上 選択必修
社会教育実習			社会教育課題研究Ⅰ	特設	3	2	
社会教育課題研究			社会教育課題研究Ⅱ	特設	3	2	
社 会 教 育 特 講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12 単 位 以 上 選 択	社会教育特講A	特設	2	2	特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから それぞれ1科目以上 選択 (計)12単位以上
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育特講B	特設	3	2	
			博物館学総論：特設	特設	1	2	
			視聴覚教育	特設	2	2	
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		教育心理	教職	1	2	
			教育の社会学	人間	2	2	
			発達心理学	特設	3	2	
			体育及びレクリエーション指導	特設	2	2	
			児童福祉論Ⅰ	人間	2	2	
			児童福祉論Ⅱ	人間	2	2	
	教育原論		特設	1	2		
	メディア産業の社会学Ⅰ		人間	2	2		
メディアと社会心理Ⅱ	人間	2	2				

○教育学部教育学科

(表Ⅱ-3)

◆2014年度以降入学生に適用

法規上の科目		必修 単位	本学該当科目	時間 割	履修 年次	単位 数	最低修得科目単位数
生涯学習概論		4単位 必修	生涯学習概論	教育	1	2	2科目4単位必修
			社会教育概論	教育	1	2	
社会教育計画		4単位 必修	社会教育計画Ⅰ	教育	2	2	2科目4単位必修
			社会教育計画Ⅱ	教育	2	2	
社会教育演習		選 4 択 単 位 必 修	社会教育演習	特設	3	4	4単位以上 選択必修
社会教育実習			社会教育課題研究(特)	特設	3	2	
社会教育課題研究			社会教育課題研究(監)	特設	3	2	
社 会 教 育 特 講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12 単 位 以 上 選 択	社会教育特講A	教育	2	2	特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから それぞれ1科目以上 選択 (計)12単位以上
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育特講B	教育	3	2	
			博物館学総論	教育	1	2	
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		教育工学	教育	3	2	
			教育心理学Ⅰ	教育	2	2	
			教育心理学Ⅱ	教育	3	2	
			教育社会学：教育	教育	2	2	
			発達心理学	教育	2	3	
			発達心理学Ⅱ	教育	3	2	
			体育及びレクリエーション指導	特設	2	2	
			児童福祉論	教育	3	2	
			教育学概論Ⅰ	教育	1	2	
	教育学概論Ⅱ		教育	1	2		
メディア産業論	特設	2	2				
コミュニケーション論	特設	2	2				

○教育学部児童教育学科

(表Ⅱ-4)

◆2014年度以降入学生に適用

法規上の科目		必修 単位	本学該当科目	時間 割	履修 年次	単位 数	最低修得科目単位数	
生涯学習概論		4単位 必修	生涯学習概論	特設	1	2	2科目4単位必修	
			社会教育概論	特設	1	2		
社会教育計画		4単位 必修	社会教育計画Ⅰ	特設	2	2	2科目4単位必修	
			社会教育計画Ⅱ	特設	2	2		
社会教育演習		選 4 択 単 位 必 修	社会教育演習	特設	3	4	4単位以上 選択必修	
社会教育実習			社会教育課題研究Ⅰ	特設	3	2		
社会教育課題研究			社会教育課題研究Ⅱ	特設	3	2		
社 会 教 育 特 講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)		社会教育特講A	特設	2	2	特講Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから それぞれ1科目以上 選択 (計)12単位以上	
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育特講B	特設	3	2		
			博物館学総論：特設	特設	1	2		
			視聴覚教育	特設	2	2		
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		12 単 位 以 上 選 択	教育心理学Ⅰ：児教	児教	2		2
				教育心理学Ⅱ：児教	児教	2		2
				教育社会学：児教	児教	2		2
				発達心理学	児教	3		2
				体育及びレクリエーション指導	特設	2		2
				児童福祉論Ⅰ	特設	3		2
				児童福祉論Ⅱ	特設	3		2
				初等教育原理Ⅰ	児教	1		2
				初等教育原理Ⅱ	児教	1		2
				少年非行論Ⅰ	特設	3		2
少年非行論Ⅱ	特設	3	2					
			メディア産業論	特設	2	2		
			コミュニケーション論	特設	2	2		

Ⅲ その他

1. 卒業後における特設課程不足単位の履修（科目等履修生）

在学中に教員免許状・社会教育主事の授与資格が取得できなかった者は、卒業後、本学科目等履修生として所要の不足単位を修得することができます。

ただし、資格取得のための課程は、あくまで在学中に修得できなかった一部の科目のみを修得する（補完する）ために開講するものです。科目等履修生として最初から各種資格の取得に必要な全ての授業科目を履修することはできません。なお、科目等履修生には、登録証が発行されますので、図書館等の学内施設が利用できます。

募集要項

1. 科目等履修生で取得できる資格と教員免許状の種類

学部	学科	教職課程	社会教育主事課程
経済	経済	中学1種「社会」・高校1種「公民」「地理歴史」	
法	法律	中学1種「社会」・高校1種「公民」「地理歴史」	
文	人間	中学1種「英語」・高校1種「英語」	
		中学1種「社会」・高校1種「公民」「地理歴史」	
		中学1種「国語」・高校1種「国語」	
		中学1種「中国語」・高校1種「中国語」	
		中学1種「ロシア語」・高校1種「ロシア語」	
経営	経営	中学1種「社会」・高校1種「公民」「地理歴史」	
教育	教育	中学1種「社会」・高校1種「公民」「地理歴史」	○*
	児童教育	小学校1種・幼稚園1種	
工	情報システム工	中学1種「数学」・高校1種「数学」「情報」	
	生命情報工	中学1種「理科」・高校1種「理科」	
	環境共生工	中学1種「理科」・高校1種「理科」	

※社会教育主事課程は、教育学部教育学科に所属します。

2. 受講を認める科目

- ① 各学部学科で開講している科目（ただし、演習科目・実習科目を除く）ならびに教職課程・社会教育主事課程の科目
- ② 科目等履修生が1年間に履修できる単位数は40単位以内です。（1 Semester 20単位以内）
- ③ 「教育実習」は、本学卒業者以外認めません。
- ④ 時間割の関係で希望する科目が重複し修得できない場合もあります。

3. 履修期間

前期：4月～9月、後期：9月～3月（「教育実習」のみを履修する場合、実習期間が後期の方は、後期に科目等履修の登録をして下さい。なお実習期間が未定の方は教職キャリアセンターへご相談下さい。）

4. 選考

- (1)書類選考 (2)面接

5. 選考料・履修費等

- ☆ 選考料 10,000円
- ☆ 登録料 20,000円（ただし、年度を継続して履修が認められた場合、および本学卒業生は免除。）
- ☆ 科目履修費 15,000円／1単位

出願にあたっては、教職キャリアセンターに必ず相談してください。

2. 各種証明書の発行について

(1)特設課程に関する証明書

特設課程に関する証明書の発行は、次の通りです。

証明書の種類	手数料	発行
教員免許状取得見込証明書	200円	7日後
学力に関する証明書	200円	7日後
社会教育主事課程修了証明書	200円	2日後
社会教育主事課程単位修得証明書	200円	7日後
人物考査書	100円	7日後

※土日・祝日は、発行日数に含まれませんのでご注意ください。

(2)各種証明書の申請方法

- ① パピルスメイトで希望の証明書の申請書を購入し、教職キャリアセンター窓口申し込んでください。
- ② 卒業後の申請についても、直接窓口で申し込む場合は、上記と同様にお願いします。なお、郵送によっても、お申し込みいただけます。以下の手順でお申し込み下さい。

1. 任意の用紙に
①氏名 ②在籍時の学籍番号 ③生年月日 ④用途 ⑤提出先
⑥現住所 ⑦電話番号（平日昼間連絡のつく連絡先） ⑧必要な証明書の種類と部数 ⑨申請する免許の校種と教科（教員免許の場合）を記入し、
2. 証明書発行手数料分の郵便小為替
3. 返信用封筒（長3封筒、80円切手貼付、郵便番号・住所・氏名記入）を同封して、以下のあて先まで送付してください。
〒192-8577
東京都八王子市丹木町1-236
創価大学 教職キャリアセンター

発行は、申請書類が到着してから上表の日数を要します。

- ③ 電話での受付は、できません（問い合わせ可）。

3. 実習のための公欠扱いについて

教育実習・介護等体験に参加する場合は、公認欠席（公欠）としての取り扱いを受けることができます。公欠願を教職キャリアセンターへ提出し、承認印を受けた後に速やかに、直接担当教員へ提出して下さい。（原則として当該授業日前に提出すること。介護等体験の場合のみ実施後に提出）

Ⅳ 資料編

1. 平成25年度 教員免許状取得状況一覧

免許教科	学 科 ・ 専 攻	教員免許状授与件数（一括申請分）								
		幼1	幼専	小1	小専	中1	中専	高1	高専	合計
社 会	経 済					2				2
	法 律					8				8
	人 間					4				4
	経 営					2				2
	教 育					18				18
	児 童 教 育									0
小 計					34				34	
地理歴史	経 済							1		1
	法 律							4		4
	人 間							5		5
	経 営							1		1
	教 育							17		17
	児 童 教 育									0
(院)人 文 学								1	1	
小 計							28	1	29	
公 民	経 済							2		2
	法 律							7		7
	人 間							5		5
	経 営									0
	教 育							14		14
	小 計							28		28
英 語	人 間					20		20		40
	教 育					25		24		49
	児 童 教 育					2		2		4
	(院)英 文 学						3		3	6
	(院)国際言語教育						2		2	4
小 計					47	5	46	5	103	
ロ シ ア	人 間					1		1		2
	小 計					1		1		2
国 語	人 間					7		5		12
	(院)国際言語教育						2		2	4
	小 計					7	2	5	2	16
数 学	情 報					10		10		20
	(院)情 報						1		1	2
	小 計					10	1	10	1	22
理 科	生 命					5		5		10
	環 境					3		3		6
	(院)生命情報工学						1		1	2
	(院)環境共生工学						3		5	8
	小 計					8	4	8	6	26
情 報	情 報									0
	(院)情 報							1		1
	小 計							1		1
幼 稚 園 小 学 校	法 律			1						1
	人 間	1		4						5
	経 営	1		1						2
	教 育	1		11						12
	児 童 教 育	55		86						141
	(院)教 育 学									0
教 職 大 学 院			3	22					25	
小 計	58		106	22					186	
合 計	58		106	22	107	12	127	15	447	

2. 平成25年度 教職課程登録者数一覧

学 部	学 科	内 訳				申込者数 合 計
		1 年	2 年	3 年	4 年	
経済学部	経 済 学 科	7	7	17	16	47
法学部	法 律 学 科	18	17	19	31	85
文学部	人 間 学 科	83	97	119	126	425
	英 文 学 科				1	1
	人 文 学 科				0	0
	日本語日本文学科				0	0
経営学部	経 営 学 科	6	17	8	21	52
教育学部	教 育 学 科	83	104	100	130	417
	児 童 教 育 学 科	119	113	123	134	489
工学部	情報システム工学科	17	22	24	25	88
	生命情報工学科	7	11	10	21	49
	環境共生工学科	12	3	5	6	26
合 計		352	391	425	511	1679

3. 平成26年度 教員採用試験合格者数一覧表 (平成25年度実施)

◎現役生 (平成26年3月卒業)

平成26年3月12日現在

校種	幼稚園	小学校	中学校/中高共通/高等学校							合計	
			全科	社会	英語	国語	中国語	ロシア語	数学		理科
学科別	経済		1								1
	法律										0
	人間	1	2	1	2	1					7
	経営		1								1
	教育		3	1	3						7
	児教	7	22								29
	情報										0
	生命 環境									1	1
教職大学院		8								8	
大学院				1				1	2	4	
全体	8	37	2	6	1	0	0	1	3	58	

幼稚園

私立 6名
東京 2名

小学校

東京都 22名
群馬県 1名
大阪府 1名
栃木県 1名
大阪府 2名
鹿児島県 1名
福岡県 1名
奈良県 1名
埼玉県 1名
千葉県 3名
横浜市 2名
名古屋市 1名
兵庫県 1名
愛知県 1名

中学校英語

埼玉県 2名
横浜市 1名
沖縄県 1名

高等学校英語

奈良県 1名
中高共通英語
東京都 2名

中学校社会

東京都 2名
兵庫県 1名

中高共通国語

東京都 1名

中学校理科

大阪府 1名

中高共通理科

東京都 1名

中学校数学

愛知県 1名

高等学校理科

愛知県 1名

◎卒業生（通教免許取得者含む）

校種	幼稚園	小学校	中学校/中高共通/高等学校								
			全科	社会	英語	国語	中国語	ロシア語	数学	理科	商業
学科別	経済		7		1						
	法律		4								
	人間（他）		5		4	2					
	経営		6								2
	教育		5	1	5						
	児教	2	17								
	情報		1						2		
	生物									1	
	生命 環境										
大学院		1						2			
教職大学院		2									
全体	2	48	1	10	2	0	0	4	1	2	

特別支援		合計
小学部	中学部	
		8
		4
		11
		8
1	1	13
		19
		3
		1
		0
		0
		3
		2
1	1	72

<主な合格>

幼稚園

東京都 1名
私立 1名

小学校

東京都 21名
千葉県 3名
埼玉県 1名
相模原市 1名
横浜市 1名
長野県 1名
愛知県 1名
愛媛県 1名
大阪市 2名
大阪府 4名
山口県 1名
福岡県 1名
大分県 1名
鹿児島県 1名
沖縄県 1名
相模原市 1名

中学校英語

千葉県 1名
川崎市 1名
福岡市 1名
広島県 1名

中高共通英語

東京都 6名

中高共通数学

東京都 2名

中学校国語

神奈川県 1名

高等学校商業

北海道 1名
岡山県 1名

特別支援(東京都)

小学校 1名
中学校社会 1名

MEMO

MEMO



特設課程ガイド 2014

教職課程／社会教育主事課程

創価大学 教職キャリアセンター

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

Tel. 042-691-9331 Fax. 042-691-9332

発行 2014年4月1日